

令和2年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	実務経験のある 教員による授業 科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
31109	総合ゼミナール Seminar (Library and Librarian)	江良友子		専門	2	必修	2年通年

科目の概要

図書館及び図書館サービスについて実践的に理解するために、本学図書館を主要なフィールドとして『図書館だより』の発行、図書館の「館内展示」、及び校内掲示板の「掲示」制作を行う。また、受講者の興味に応じて読書会やビブリオバトル、図書館の見学会などを行う。受講生による自主的な運営と共同作業を基本とすることで、建学の精神を踏襲するとともに社会人基礎力を育成し、図書館司書の仕事に必要な課題解決能力を身につける。

学修内容	到達目標
① 館内展示の計画・作成の方法を知る ② 掲示板の計画・作成の方法を知る ③ 図書館だよりの計画・作成の方法を知る ④ 司書資格取得科目で学んだ読み聞かせや選書の技術を使ったコミュニケーションを実施する（自主企画） ⑤ まとめ、反省会を実施する	① 注目を集める館内展示を考え、制作できる ② 図書館と本の魅力をアピールする掲示を考え、制作できる ③ 図書館だよりを通じて大学図書館をアピールできる ④ 他大学の学生や地域と交流するための企画・立案・参加ができる ⑤ ふり返りをを行い、更なる学びに繋げることができる

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	現在のゼミ活動の中で何をすべきか見極め、自発的に取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	更に良い作品にするにはどうしたらよいかを考え、過程を大切にしながら制作に取り組むことができる。
考え抜く力	課題発見力	常に周りに声かけをし、正確な作業を把握しながら作品制作ができる。
	計画力	
	創造力	図書館利用者を意識した、図書館だより、館内展示、掲示の企画・制作ができる。
チームで働く力	発信力	本や紙芝居など資料をハブとしたコミュニケーションを、他大学の学生や地域住民と取ることができる。
	傾聴力	自分と異なる意見を持つ他者の話にも耳を傾けることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	無断欠席をせず、授業を円滑に進めるようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：必要に応じて参考資料等を配布する。
参考文献：必要に応じて配布する。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：図書館に関する全ての科目
資格との関連：図書館司書

学修上の助言	受講生とのルール
司書として現場で仕事をするために必要なことを実践的に学習する。 受け身ではなく、積極的に発言・行動すること。 図書館だけでなく、博物館など展示・掲示制作で参考となる場所へ自ら足を運び、学習することが望ましい。	遅刻・早退は、3回で1回の欠席となる。 6回以上の欠席は0(放棄)判定となる。 無断欠席はしない。必ず連絡・報告する。 話し合いで決定した事項は、全員で協力して行うこと。 携帯電話の電源は切り、カバンに入れておくこと。 自主企画や図書館見学に要する費用は自己負担とする。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記(レポート含む)・実技・口述試験		①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
	平常評価	小テスト			①		
					②		
					③		
					④		
					⑤		
		レポート				①	
						②	
						③	
						④	
						⑤	
	成果発表(プレゼンテーション・作品制作等)		90		①	✓	
					②	✓	
					③	✓	
					④	✓	
					⑤	✓	
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10		①	✓		
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤	✓		
総合評価 割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S (秀) 評価</p> <p>ゼミ内・外で、参加・発表の場が与えられた時、積極的に参加し、発表することができる。割り当てられた作品が、期日までに制作でき、人を引き付ける魅力的なものに仕上がっている。学校内外の行事・イベントの準備や参加に意欲をもって望み、参加することができる。社会人基礎力にある学修態度が概ね9割以上達成できている。</p> <p>A (優) 評価</p> <p>ゼミ内・外で、参加・発表の場が与えられた時、参加し、発表することができる。作品が、期日までに制作でき、人を引き付ける魅力的なものに仕上がっている。学校内外の行事・イベントの準備や参加に意欲をもって望み、参加することができる。社会人基礎力にある学修態度が概ね8割以上達成できている。</p>	<p>B (良) 評価</p> <p>ゼミ内・外で、参加・発表の場が与えられた時、積極的に参加し、発表しようと努力している。作品が、期日までに制作でき、人を引き付ける魅力的なものに仕上がっている。社会人基礎力にある学修態度が概ね7割以上達成できている。</p> <p>C (可) 評価</p> <p>ゼミ内・外で、参加・発表の場が与えられた時、参加している。作品が、期日までに制作できている。社会人基礎力にある学修態度が概ね6割以上達成できている。或いは、達成には至らないが努力できている。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 授業の進め方説明と年間計画の検討を行う	講義	授業の趣旨を理解し、年間計画に自分の意見を反映させることができる。	(第1回予習) 自主企画の案を考えて図案化する。	45	主体性 発信力 傾聴力 規律性
2・3 4・5	館内展示 1 図書館内の展示企画と作成、参考となる図書館見学を行う	演習(作成) 図書館見学(予定) 作成物の講評(フィードバック)	館内展示(5~8月分)の企画・作成、展示作業を行うことができる。	(各回予習) 魅力的な展示・掲示にするために必要なことを考え、発表できるようにまとめる。	90 90 90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
6・7 8・9	掲示 1 掲示板を有効に使う方法を学習し、掲示作成を行う	演習(作成) 作成物の講評(フィードバック)	掲示(5~8月分)の企画・作成、掲示作業を行うことができる。	(各回課題) 月替わり展示・掲示制作作業 ・季節 ・色使い ・レイアウトを考える。	90 90 90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
10 ・ 11	自主企画 1	話し合い 演習又は実習、見学	自主企画案を出すことができる。 決定した内容に沿って作業に参加できる(制作物の場合は完成させることができる)。	(予習) 第1回授業で決定した自主企画準備 ・日程 ・材料 ・道具	90 90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12 ・ 13 ・ 14	図書館だより 1 図書館だよりの企画と制作を行う ①紙面の作り方 ②アンケートの実施方法 ③インタビューの仕方 ④本の紹介 ⑤読者層に合わせた記事の書き方	図書館だより 秋号 演習(作成) 作成物の講評(フィードバック)	図書館だよりの企画・制作、発行ができる。	(予習) 図書館だより企画・作成準備 ・レイアウトの参考となる資料 ・インタビュー ・紹介する本	90 90 90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
15	前期の反省会 後期の計画	話し合い	前期に作成した作品の振り返り、課題検討ができる。 後期分自主企画の計画案を立てることができる。	(予習) これまで作成した作品を振り返り、課題を3分で発表できるようにする。 前期の反省を踏まえ、後期の自主企画案を考える。	90	主体性 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
16 17 18 19	館内展示 2 図書館内の展示企画と作成 を行う	話し合い 演習(作成) 作成物の講評 (フィードバック)	第1回館内展示作成時の反省点をふまえて、(10~3月分)の展示の企画・制作・展示活動ができる。	(予習) 展示案をひと月毎 1案以上考え、企 画書を作成する。 (課題) 作品制作	90 90 90 90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 傾聴力 規律性
20 21 22 23	学びの泉グランプリ準備 学びの泉グランプリ学科予 選に向けて発表準備を行う	話し合い 役割分担 プレゼンテーショ ン	割当たった役割を理解し、各々が最大限努力できる。	(予習) 発表テーマを考え て臨む。 役割に応じて: ・発表用シナリオ を作成する。 ・発表用PPを作成する。	90 90 90 90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
24 25 26 27	掲示 2 大学玄関左手の掲示企画と 作成を行う	話し合い 演習(作成) 作成物の講評 (フィードバック)	第1回掲示作成時の反省点をふまえて、(10~3月分)の掲示の企画・制作・展示活動ができる。	(予習) 掲示案をひと月毎 1案以上考え、企 画書を作成する。 (課題) 作品制作	90 90 90 90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 傾聴力 規律性
28 29	図書館だより 1 図書館だよりの企画と制作 を行う ①紙面の作り方 ②アンケートの実施方法 ③インタビューの仕方 ④本の紹介 ⑤読者層に合わせた記事の 書き方	図書館だより 春 号 演習(作成) 作成物の講評 (フィードバック)	図書館だよりの企画・制作、発行ができる。	(予習) 図書館だより企 画・作成準備 ・レイアウトの参 考となる資料 ・インタビュー ・紹介する本	18 0 18 0	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 傾聴力 規律性
30	後期の反省会	話し合い	後期に作成した作品の振り返り、課題検討ができる。 来年度ゼミ生への引継ぎ事項検討。	(予習) これまで作成した作品を振り返り、課題を3分で発表できるようにする。 後期の反省を踏まえ、来年度ゼミ生へ引継ぎ事項を書き出す。	45	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

令和2年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	実務経験のある 教員による授業 科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
31109	総合ゼミナール Seminar (Food and nutrition)	大森有希乃		基礎	2	必修	2年前期

科目の概要

人間は生きるための栄養を食事から摂ります。「食べることは単に栄養を摂取することだけでなく、健康を維持したり、おいしく食べることで心の豊かさを育て、また共に食べることにより社会性を育んでいきます。「食べることは生きること」であり、食をおいしさ、文化、栄養、安全性など様々な面から考え、食の大切さを理解することは、社会人としての基礎をつくることでもあります。

具体的には、興味を持ったテーマやレシピコンテスト、学祭、地域貢献活動などに合わせた献立やレシピを作成し、実際に調理を行って、実践力を身につけていきます。そして、常に「真心・努力・奉仕・感謝」の建学の精神を大切にしながらゼミ活動を行うことによって、健康な体と健全な精神を修得することを目指していきます。また、フードスペシャリスト資格を目指す学生には、ゼミの各テーマが受験科目の復習となるよう配慮していきます。

学修内容	到達目標
食に関する活動（むらさきまつり、学祭、地域貢献活動など）を通じて、おいしさ、栄養、安全、ビジネスなど食を多面的に考え、食のイベントの企画運営ができる実践力を養う。 ライフステージにおける食の特徴と重要性を理解する。 自分の食生活について考察する。 食文化とマナーについて知る。 フードスペシャリスト資格試験に挑戦する。	① 食に関する活動に積極的に参加し、必要な情報を収集してイベントの計画を立て、実践できる。 ② 離乳期、成人期、高齢期の食の特徴を知り、献立や調理方法を考えることができる。 ③ 自分の食生活の問題点を見つけ、改善方法を提示できる。 ④ 日本の伝統的な食文化（和食）について考察し、地域の物産や旬の食材を使用したレシピを完成させることができる。 ⑤ フードスペシャリスト資格を取得する。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	指示を待つのではなく、シラバスの予習・復習を読み、やるべきことを考えて次の準備や行動を起こす
	働きかけ力	自分では解決できないことがあった時は、そのままにせずゼミの仲間や先生に相談する
	実行力	ゼミの活動や資格試験合格に向け、粘り強く取り組み、目標を達成する
考え抜く力	課題発見力	ゼミ活動の目標達成のために、自分の課題を考えて行動する
	計画力	イベント参加や資格試験合格に向け、目標と目的を明確にして計画を立て、実行する
	創造力	一つの知識からだけでなく、いろいろな知識を組み合わせアイデアを考える
チームで働く力	発信力	相手の目（顔）を見て話し、相手が自分の話を正しく理解しているかの反応をみて、相手に分かりやすく伝える力を身につける
	傾聴力	話を聞く時は、うなずきやあいづちをし、大事なことはメモをとりながら聞く
	柔軟性	自分と異なる意見や考えも理解しようと努め、よりよい方向に向かって譲歩しながらゼミ活動を進める
	状況把握力	仲間の行動を見ながら、自分のやるべき役割を考えて行動する
	規律性	無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	ストレスを乗り越えれば次は楽になるという前向きな気持ちを持ち、ゼミの仲間や先生に相談したりして取り組むようにする

テキスト及び参考文献

テキスト：なし。必要に応じて、資料を配布する。
参考文献：なし

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：ゼミ選択時においてフードクリエイティブ、フードスペシャリスト関連科目を受講していることが望ましい
資格との関連：なし

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から自分や家族の食事に関心を持ち、健康的な食生活を送るよう努力して欲しい ・料理をする機会を多く持ち、知識と技術を習得し、レシピコンテストに積極的に参加して欲しい ・食に関する情報に関心を持って欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・調理実習を行う時は、準備・後片付けの時間も必要となるため、ゼミの時間を延長することもある ・授業に必要な費用についてはオリエンテーションで提示する ・調理実習時は、身だしなみ（白衣、三角巾着用、爪を切る、アクセサリー、ネイルはつけないなど）に注意する。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験		①				
			②				
			③				
			④				
			⑤				
	平常評価	小テスト		①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
		レポート	40	①		✓	・ゼミで取り組んだテーマについてまとめ、レポートにして提出する ・むらさき麦まつり、離乳食、介護食、地域貢献活動への参加、自分の食生活、学祭への参加、日本の伝統的な食文化について、取り組んだ内容、結果、感想（社会人基礎力を含む）についてまとめる ・レポートの提出期日は厳守する
				②		✓	
				③		✓	
				④		✓	
				⑤			
成果発表 (プレゼンテーション・作品制作等)	50	①		・日本の伝統的な食文化について、使用する食材、食のマナー、調理方法などを調べ、実際に調理をしてレシピを完成させる ・ゼミ活動で作成したレシピをまとめてレシピ集を作る ・ゼミ活動をまとめ、その成果を発表する			
		②					
		③					
		④	✓				
		⑤					
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10	①	✓	(主体性) 予習・復習をし、ゼミ活動が円滑に行えるように準備することができる (働きかけ力) わからないことがあった時、周囲に質問や相談ができる (実行力) 自分が立てた目標に対して粘り強く取り組んでいる (課題発見力) ゼミ活動がスムーズに行えるよう絶えず課題を考えて行動している (計画力) 目標に向けて計画を立て実行する (創造力) ゼミ活動のいろいろなテーマに対して1つ以上のアイデアを出すことができる (発信力) 相手がわかるように話をする (傾聴力) 話を聞く時はメモをとりながら聞くことができる (柔軟性) 人の意見を最後まで聞き、理解しようと努力できる (状況把握力) 仲間の行動を見ながら自分の立場や役割を考えて行動できる (規律性) 受講態度が悪い場合は減点する(学習意欲欠如、課題やその他の提出物の未提出、グループ活動への非協力など) (ストレスコントロール力) ストレスを抱え込まず、周りの人に相談できる		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
総合評価 割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
時間割に充てられた以外にも積極的にゼミ活動を行うことができる() ゼミ活動で取り上げるテーマについて事前に調べ、グループ討議では、自分の意見を積極的に発表し、意見をまとめることができる() レシピ集の制作に積極的に参加し、表紙やあとがきなどを分担し、よりよい作品に仕上げるよう努力できる() フードスペシャリスト試験に合格したり、レシピコンテストに参加して入賞するなど、積極的にゼミ活動を行う() S(秀) = + + または、A(優) = +	時間割に充てられた以外にも積極的にゼミ活動を行うことができる() ゼミ活動で取り上げるテーマについて事前に調べ、グループ討議では、自分の意見を発表することができる() レシピ集の制作に参加し、よりよい作品に仕上げるよう努力できる() B(良) = + + 、C(可) = +

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	・オリエンテーション ・自己紹介 ・授業の進め方について ・ゼミの運営方法について	講義	ゼミの方針を理解する 役割分担に積極的に協力する	(復習)自分のやりた いことをまとめてレ ポートにする	90	主体性 課題発見力 傾聴力 ストレスコ ントロール力
2週 /	まちづくりプロジェクト ・前年度のサロン活動を知り、今 年度のゼミとしての活動目標 ・内容を検討し、役割分担をする	グループ討議	ゼミの特徴を理解し、積極的に 自分の役割を決めることが できる 1年間のゼミ計画を立て ることができる	(復習)ゼミとして取 り組みや今後の計画を 立てる	90	主体性 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力
3週 /	まちづくりプロジェクト ・矢作地区の概要を知る：グルー プに分かれ、テーマを決めて調査 や情報収集をする 食品・食材について知る ・むらさき麦お菓子グランプリの 説明とゼミの係り方についての相 談	グループ討議	地域の地理的特徴や歴史につい て図書館で調べることができる。 むらさき麦について特徴や食材 としての利用方法を調べること ができる	(予習)矢作地区に ついて調べてくる (復習)調べたり、聞 き取り調査の結果を まとめる	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 傾聴力
4週 /	食品・食材について知る ・むらさき麦お菓子の製作(個 人) まちづくりプロジェクト ・サロン活動のお菓子づくりの計 画	実習 グループ討議	むらさき麦を使ったお菓子を提 案できる	(予習)むらさき麦に ついて その特徴と活 用方法を考える (復習)むらさき麦を 使ったお菓子のレシ ピを作成する	90	主体性 働きかけ力 課題発見力 計画力 傾聴力
5週 /	食品・食材について知る ・むらさき麦お菓子の作成(個 人)と試食 まちづくりプロジェクト ・お菓子の提案・決定	実習 グループ討議 グランプリでの入賞を めざして積極的に意見 を言う	むらさき麦を使ったお菓子の レシピを作ることができる サロン活動用のお菓子の提案が できる	(予習)実習材料を準 備する サロン活動用 のお菓子を考える (復習)レシピの修正	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 柔軟性
6週 7週 /	むらさき麦お菓子グランプリへの 出品お菓子を作る むらさき麦お菓子グランプリへの 参加	実習 学外実習	自分の役割を理解して行動する ことができる	(予習)材料の準備 (復習)決定したレシ ピの作成 学外実習を振り 返ってレポート作成	90	主体性 働きかけ力 状況把握力 規律性
8週 /	まちづくりプロジェクト ・矢作飛鳥まつりについて	学外講師(岡崎市教育 委員会の担当者)によ る 講演	講演を聞いて要旨をまとめる ことができる	(予習)飛鳥時代の食 について調べておく (復習)講演の内容を まとめる	180	主体性 働きかけ力 実行力柔軟 性
9週 10週 /	まちづくりプロジェクト ・矢作飛鳥まつりについて	グループ討議	古代食について調べることが できる	(予習)古代食につい て調べる (復習)古代食につい てまとめる	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力
11週 /	ライフステージ別の健康と食事について考える 調べてきたことを発表する	講義・発表	乳児期、離乳期、高齢期のい ずれかについてその特徴と栄養に ついて調べたことを発表できる	(予習)離乳食、介護 食について特徴と調 理方法について調べ ておく(復習)乳児 期・離乳期・高齢期 の特徴と栄養につい てまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 規律性
12週 13週 /	ライフステージ別の食事について 考える・離乳食、介護食実習 (離乳食のおかゆと介護食のかゆ ゼリーを作る。幼児食のおやつを 作る。介護食(ソフト食)を作 る。)	調理実習 実習レポートの提出	離乳食の基本と介護食の基本を 理解する	(予習)幼児期のおや つを考えておく (復習)実習レポー トの作成	90	主体性 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
14週 /	外部講師を招き食事のマナーや料理の 写真の撮り方について学ぶ (外部講師：未定)	実習講師に積極的に質 問する 実習レシピの提出	仲間と協力して料理を作り、実 習のレシピを完成させること ができる	(予習)外部講師の分 野の料理について調べ る(復習)実習レシ ピ(写真もつける)		

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
15週 /	まちづくりプロジェクト ・反省と後期の計画 前期のまとめ 夏休みの間の学修計画	演習 グループ討議	前期まちづくりプロジェクトの反省から課題を見出し、後期のまちづくりプロジェクトへの提案ができる 資格試験に向けての計画を作成できる	(復習)前期を振り返ってゼミ活動について感想を書く 資格試験の過去問題を解く	90	主体性 課題発見力 計画力
16週 / 17週 /	学泉祭への出店(1) ・学泉祭に模擬店を出店する 何を提供するか、マーケティングから始め、試作を重ね、商品の開発、試作、包装、販売方法、役割分担など検討する まちづくりプロジェクトの準備	グループ討議	仲間と協力して、模擬店の商品をつくること ができる	(予習)模擬店運営のために必要なことを各自考えてくる 必要に応じて、材料を集めてくる (復習)検討したことをまとめておく	180	主体性 働きかけ力 課題発見力 計画力 創造力 柔軟性
18週 / 19週 /	学泉祭への出店(2) ・模擬店の運営の計画を立てる まちづくりプロジェクト ・サロン活動の計画とお菓子づくり	グループ活動 実習	自分の役割を理解し、仲間と協力して模擬店を運営することができる	(予習)サロン活動のお菓子を考えておく (復習)必要に応じて、材料を集めてくる 学泉祭の振り返り	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力 柔軟性 規律性 ストレスコントロール力
20週 / 21週 / 22週 /	各自自分のテーマを考え、必要な情報を収集し活動を計画する ・フードスペシャリスト資格試験 ・まちづくりプロジェクトの計画	情報収集 グループ活動 模擬試験・解説	フードスペシャリスト資格試験合格に向けて受験勉強の計画を立て、合格に向けて勉強をすることができる サロン活動のお菓子の提案ができる	(復習)サロン活動の役割を考えて計画表をつくる 受験者は、過去問題集や模擬試験の問題を繰り返し行う	270	主体性 課題発見力
23週	身近な食について考える ・自分の朝食について考察する	講義・演習	自分の食生活を振り返り、バランスの良い食事を理解する	(予習)食事のバランスをみるために日常の朝食を書き出す。 (復習)自分の食生活を振り返り朝食の取り方を見直す	90	主体性 実行力 創造力
24週 / 25週 /	身近な食について考える ・朝食のメニューを考える (考えた朝食を作る)	講義 実習 レポート提出	自分の朝食の摂りかたを振り返り、無理なくバランスよく食べることができる朝食を作ることができる	(予習)バランスのよい朝食レシピを考えておく (復習)レポート作成	180	主体性 実行力 創造力 規律性
26週 / 27週 / 28週 /	食文化を学び、継承する(1) 和食文化について学び、日本の年中行事と食文化について考え資料を集める	講義・演習 実習	日本の「行事食」について調べ、調理実習のためのレシピを考えて、調理実習を行い、写真を撮ってレシピを完成させることができる	(予習)調理実習の準備 (復習)日本の年中行事と食文化についてまとめる	270	主体性 働きかけ力 実行力 創造力 発信力 柔軟性 規律性
29週 / 30週 /	食文化を学び、継承する(2) ・日本の年中行事と食文化のまとめとゼミ活動の発表 ・レシピ集の完成	発表 レシピ集完成	日本の年中行事と食文化について調べたことやゼミ活動のまとめを発表することができる	(予習)調理実習や発表のための準備 レシピ集作成のための準備 (復習)日本の年中行事と食文化についてレポート提出	180	主体性 働きかけ力 実行力 創造力 発信力 柔軟性 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

令和2年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	実務経験のある 教員による授業 科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
31109	総合ゼミナール Synthesis Seminar	小山田 尚弘		基礎	2	必修	2年通年

科目の概要

このゼミは「楽しく、作品を制作しよう！」をテーマに授業を進めます。制作した作品は、卒業作品の発表として学内の展示スペースにも展示します。また希望者には、作品を西尾市美術展・岡崎市美術展・全国着物デザインコンクールなどのコンテストにも出品します。授業は2年生の前後期の30回授業で作品を制作するので、各学生はしっかりした制作のスケジュールを組んで作品を制作してほしい。また、芸術の見聞を広げる目的で美術館や博物館に見学に出かける予定です。授業を通して、建学の精神や社会人基礎力を身に付け、個性的な芸術表現ができるように潜在能力開発に努めてほしい。

学修内容	到達目標
① デザイン・染色・デッサン・色彩などの技法や知識などを学びながら作品を制作する。 ② 学外の美術館や博物館に出掛け、芸術専門分野の学識を深める。 ③ 学生の潜在能力開発の目的で、学生が授業で制作した作品をコンクールに出品する。	① デザインや染色の知識・技術の修得ができる。 ② 学外の美術館や博物館に出掛け見聞を広げることができる。 ③ 授業で制作した作品をコンクールに出品し、入選や受賞により潜在能力を伸ばすことができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	作品を総合的に捉えて判断し、良い作品になるように粘り強く仕上げることができる。
	働きかけ力	
	実行力	自分で立てた目標を達成できるように、具体的に行動を起こすことができる。
考え抜く力	課題発見力	良い作品に仕上がるように、総合的に作品をよく検討し仕上げることができる。
	計画力	
	創造力	自分の感性を大切に、個性豊かに創造して仕上げることができる。
チームで働く力	発信力	作品を通して意見の主張や自分なりのこだわりを発信することができる。
	傾聴力	作品を総合的に捉えて判断し、良い作品になるように粘り強く仕上げることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	無断欠席をせず、授業を円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

必要に応じてプリントを配布する。

他科目との関連、資格との関連

色彩と表現、ポップデザイン、基礎デザイン、染色デザイン

学修上の助言	受講生とのルール
デッサン、色彩、イラスト画、染色など学生が制作したい分野を選び自由に制作してもらいます。授業では、作品制作をとうして潜在能力開発や社会人基礎力が修得できるようにしっかり取り組んでもらいたい。美術館の見学には必ず参加してほしい。	① ポスターカラーやアクリル絵の具は各自で購入し準備する。 ② 作品の提出期限を守ること。 ③ 作品制作により自分を高める努力をすること。 ④ 材料費は制作内容により異なる。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記(レポート含む)・実技・口述試験		①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト			①			
					②			
					③			
					④			
					⑤			
		レポート					①	
							②	
							③	
							④	
							⑤	
		成果発表(プレゼンテーション・作品制作等)		90			①	✓
							②	✓
							③	✓
							④	
							⑤	
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10		①	✓			
				②	✓			
				③	✓			
				④				
				⑤				
総合評価 割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>A：制作課題に対して、一生懸命に制作に励み、アイデアもたくさん出し、デザイン性に優れ、染色技術の完成度も高い作品として仕上がっている。課題内容を正確に捉え、配色や構成など大変よくできている。魅力的でオリジナリティな作品に仕上がっている。</p> <p>S：上記の基準に加えて、積極的な受講態度が見られ、作品はクラスの中でも際立って優れた高い評価。</p>	<p>B：制作課題は提出期限までに、教員の指示通りの制作を行って完成できている。基本的なデザインや染色の知識・技術を身につけている。</p> <p>C：上記の基準に対して、作品制作の仕上がりが悪く、授業態度も努力の姿勢が感じられない。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1～2週	<前期> オリエンテーション 授業の内容説明やスケジュール説明を行う 作品制作	講義、演習 教員が1年間の活動内容を説明後、各学生が活動計画を立てたり作品制作を行う	授業のスケジュールや内容の理解している 授業で何を制作するのか明確にして計画できる	(復習)授業内容を理解し次の授業で持参するものを準備しておく	90	主体性 傾聴力 発信力 規律性 創造力
3～4週	作品制作：染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩計画など行う。たくさんのアイデアを出して検討する。 作品制作	演習： 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する	デザイン・染色など学生がそれぞれ計画し制作できる	(予習)デザインや染色の計画を行っておく (復習)染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩などについてまとめる	45 45	主体性 創造力 傾聴力 実行力 発信力 規律性
5～6週	作品制作：染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩計画など行う。たくさんのアイデアを出して検討する。 作品制作	演習： 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する	アイデアをたくさん出し多方面から検討して制作できる	(予習)作品の下絵をたくさん描いておく(復習)染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩などについてまとめる	45 45	主体性 創造力 課題発見力 主体性 創造力 課題発見力
7～8週	作品制作：染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩計画など行う。迷ったら小作品の試作を制作して検討する。 作品制作	演習： 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する	作品制作において、問題点があれば教員に聞いて相談できる	(予習)デザインや色彩の計画・画面の動きなどを考えてくる (復習)デザインを再度検討してくる。	45 45	主体性 創造力 課題発見力 実行力
9～10週	作品制作：染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩計画など行う。迷ったら小作品の試作を制作して検討する。 作品制作	演習： 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する	小下図から実際の作品サイズに拡大し制作できる	(予習)作品の制作構図や計画を考え、配色についても検討してくる (復習)染色作品の技法についてまとめる	45 45	主体性 創造力 傾聴力 実行力 課題発見力
11～13週	作品制作：染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩計画など行う。最初の作品を制作したら2作品目を制作する 作品制作	演習： 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する	コンクールへの出品の申し込み書を記入する	(予習)色彩の検討や計画を行っておく(復習)染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩などについてまとめる	45 45	主体性 創造力 課題発見力 実行力
14～15週	作品制作：染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩計画など行う	演習： 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する	作品の搬入できるように準備する	(予習)デザイン計画やバランスなどの検討しておく (復習)染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩などについてまとめる	45 45	主体性 創造力 課題発見力 実行力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
16 ～ 18 週	染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩計画など行う 作品制作	演習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	作品の批評に従って学生各自で作品の見直しや計画できる デザインの計画・検討し見直しを行うことができる	(予習)作品制作の材料や助在など準備しておく (復習)染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩などについてまとめる	45	主体性 創造力 課題 発見力 実行力
				(予習)配色やデザイン構成などの計画やアイデアを考えてくる (復習)作品の制作・デザイン制作についてまとめる	45	
19 ～ 23 週	計画性を持って色彩やデザインを考える 今まで制作した作品の再検討 配色・画面構成・バランスなど検討する	演習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	デザインや染色などの色彩配色の再検討できる 作品の制作スケジュールを確認して作品を制作できる	(予習)作品の計画や工程の確認を行いまとめておく (復習)作品の制作についてまとめる	45	主体性 創造力 課題 発見力
				(予習)作品の計画や工程の確認を行いまとめておく (復習)作品の制作についてまとめる	45	
24 ～ 25 週	作品制作 計画性を持って色彩配色や画面構成を考えてまとめ、デザイン作品や染色作品として仕上げていく。	演習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	大学祭でゼミの作品発表や模擬店の準備や計画を行うことができる 作品の画面構成・構図の検討・配色の検討を行って作品を仕上げることができる	(予習)色々なアイデアを出し試作品を何度か作って試しておく (復習)染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩などについてまとめる	45	主体性 創造力 課題 発見力 実行力
				(予習)色々なアイデアを出し試作品を何度か作って試しておく (復習)染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩などについてまとめる	45	
26 ～ 27 週	作品制作 計画性を持って色彩配色や画面構成を考えてまとめ、デザイン作品や染色作品として仕上げていく。問題点などの課題を検討し、迷ったら教員にも聞いて作品を制作する。	演習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	デザインや染色などの色彩配色の再検討できる 作品の制作スケジュールを確認して作品を制作できる	(予習)再度、配色やテクスチャーを検討しておく (復習)染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩などについてまとめる	45	主体性 創造力 課題 発見力
				(予習)再度、配色やテクスチャーを検討しておく (復習)染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩などについてまとめる	45	
28 ～ 29 週	作品制作 計画性を持って色彩配色や画面構成を考えてまとめ、デザイン作品や染色作品として仕上げていく。問題点などの課題を検討し、迷ったら教員にも聞いて作品を制作する。	演習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	デザインや染色などの色彩配色の再検討できる 作品の制作スケジュールを確認して作品を制作できる	(予習)作品制作の完成を目指す (復習)染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩などについてまとめる	45	主体性 創造力 課題 発見力
				(予習)作品制作の完成を目指す (復習)染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩などについてまとめる	45	
30 週	作品のまとめ	演習 各自が作品制作の完成。教員が作品を採点し、フィードバックし講評する。	デザインや染色などの作品を完成し提出できる	(予習)作品制作の完成を目指す (復習)染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩などについてまとめる	45	主体性 創造力 課題 発見力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

令和2年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	実務経験のある 教員による授業 科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
31109	総合ゼミナール Seminar (Digital Contents Design)	神谷 良夫		専門	2	必修	2年通年

科目の概要

「デジタルマーケティング」を学んで、デジタルコンテンツを作ってみよう！
この授業では、「情報デザイン」ユニットで学習したスキルを発展的に伸ばすことを目指しています。前期に「デジタルマーケティング」をテキスト中心に様々なデジタルマーケティング技法事例を理解して、デジタルビジネスの手法を修得します。後期は前期に学んだデジタルマーケティングの手法を参考に主体的にプロジェクト提案に基づくデジタルコンテンツ制作を行います。これらの専門的知識・技能を習得し、活用することを学修します。

学修内容	到達目標
① Webマーケティングについて知る。 ② 様々なWebマーケティング技法とイノベーションについて理解する。 ③ 主体的に作品制作を通してWebビジネスの実際を理解する。	① Webマーケティングとは何かを述べることができる。 ② Webマーケティングの技法と活用事例を学び、イノベーションの起こし方を列記することができる。 ③ デジタルコンテンツ制作のある分野を自分のプロジェクトとして選択し、作品制作を実施することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	技術の習得のために自ら練習をすることができる。
	働きかけ力	
	実行力	困難があっても目標を変更せず到達することができる。
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測ではなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	計画通り進まないときは、計画を見直し修正できる。
	創造力	事を考える時に、固定観念に捕らわれることなくいろいろな方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	発表の仕方を工夫して発表できる。
	傾聴力	質問された場合は、何を聞かれているか理解して回答することができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

前期：デジタルマーケティング集中講義（マイナビ）、AI・IoTに関する書籍
テキストを購入する必要はありません。
後期：プロジェクト提案に基づくデジタルコンテンツ制作を行う。

他科目との関連、資格との関連

「Webデザイン」、「デジタルマーケティング」「CG演習（イラストレータ）」、「CG演習（フォトショップ）」、「Webデザイン基礎演習」、「Webデザイン応用演習」の履修済及び履修中であること。「Webプログラミング演習」は履修済み或いは履修中であることが望ましい。
資格との関連：ウェブデザイン実務士

学修上の助言	受講生とのルール
プロジェクト提案に基づく作品制作では、自分の挑戦してみたい課題を発見し、実行計画と振り返りを通して工程管理する能力を高めます。この授業は、情報デザインユニット履修者対象です。	課題はグループウエアを通して出しますのでその都度アップして下さい。可能な限り、CG-ARTS協会Webデザイナー検定に挑戦する。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記(レポート含む)・実技・口述試験		①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト			①			
					②			
					③			
					④			
					⑤			
		レポート		20			①	✓
							②	✓
							③	✓
							④	
							⑤	
		成果発表(プレゼンテーション・作品制作等)		70			①	✓
							②	✓
							③	✓
							④	
							⑤	
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10		①	✓			
				②	✓			
				③	✓			
				④				
				⑤				
総合評価 割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>前期のWebマーケティングやAI・IoT関連においては、知識を向上させ、議論等に建設的に発言できる。(①)</p> <p>後期の作品制作においては、完成度は高く表現にも工夫が見られる作品を制作する。(②)</p> <p>授業において積極的に参加する。(③)</p> <p>S(秀) = ①+②+③、A(優) = ①+③</p>	<p>前期のWebマーケティングAI・IoT関連においては、理解を深めている。(①)</p> <p>後期の作品制作においては、完成はしているが、表現方法に工夫と努力が必要である作品を制作する(②)</p> <p>授業において建設的に参加する。(③)</p> <p>B(良) = ①+②+③、C(可) = ①+③</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週	<前期> ゼミナールの年間計を学ぶ。	演習と講義	授業の全体像を説明することができる。	(予習)「デジタルマーケティング」の読み込み。	90	課題発見力 実行力 傾聴力
2週	デジタルマーケティングと第4次産業革命学ぶ。	演習と講義	デジタルマーケティングの概要が説明することができる。	(予習)第1講の読み込み (復習)Keywordをまとめ プレゼンを作成する。	90	課題発見力 実行力 傾聴力
3週	ネットとリアル融合、テクノロジー自動化学ぶ。	質疑後、グループウェアを通してフィードバックする。	ネットとリアル融合を説明することができる。	(予習)第2講の読み込み (復習)Keywordをまとめ プレゼンを作成する。	90	課題発見力 実行力 傾聴力
4週	客心理モデルとデジタルマーケティング学ぶ。	(1週から14週まで)	マーケティング4.0を説明することができる。	(予習)第3講の読み込み (復習)Keywordをまとめ プレゼンを作成する。	90	課題発見力 実行力 傾聴力
5週	限界費用ゼロのデジタルマーケティングとUI・UX学ぶ。		限界費用とUI/UXを説明することができる。	(予習)第4講の読み込み (復習)Keywordをまとめ プレゼンを作成する。	90	課題発見力 実行力 傾聴力
6週	ローカルビジネスとSEOとエンゲージメント学ぶ		ローカルビジネスとAISAREを説明することができる。	(予習)第5講の読み込み (復習)Keywordをまとめ プレゼンを作成する。	90	課題発見力 実行力 傾聴力
7週	EC市場の進展、リアル展開とシェアリングエコノミーを学ぶ。		EC市場とリアル市場を説明することができる。	(予習)第6講の読み込み (復習)Keywordをまとめ プレゼンを作成する。	90	課題発見力 実行力 傾聴力
8週	SEOの歴史とコンテンツマーケティング、Webメディアと倫理を学ぶ。		コンテンツマーケティングを説明することができる。	(予習)第7講の読み込み (復習)Keywordをまとめ プレゼンを作成する。	90	課題発見力 実行力 傾聴力
9週	SNSと動画マーケティングを学ぶ		SNSのデジタルマーケティングを説明することができる。	(予習)第8講の読み込み (復習)Keywordをまとめ プレゼンを作成する。	90	課題発見力 実行力 傾聴力
10週	Web広告とアドテクノロジーの進展を学ぶ。		インターネット広告の進化を説明することができる。	(予習)第9講の読み込み (復習)Keywordをまとめ プレゼンを作成する。	90	課題発見力 実行力 傾聴力
11週	動画とWebサイトの分析ツールを学ぶ。		YouTubeアナリティクスを説明することができる。	(予習)第10講の読み込み (復習)Keywordをまとめ プレゼンを作成する。	90	課題発見力 実行力 傾聴力
12週	オウンドメディアを教化する10のツール+1を学ぶ。		自社メディアの重要性を説明することができる。	(予習)第11講の読み込み (復習)Keywordをまとめ プレゼンを作成する。	90	課題発見力 実行力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
13週	ポストスマートフォン時代からシンギュラリティ、第5次産業革命を学ぶ。		第4次産業革命を説明することができる。	(予習)第12講の読み込み。 (復習)Keywordをまとめプレゼンを作成する。	90	課題発見力 計画力 実行力 傾聴力
14週	ポストスマートフォン時代からシンギュラリティ、第5次産業革命を学ぶ	講義と質疑応答後、グループウェアを通してフィードバックする。	第5次産業革命を説明することができる。	予習)第13講の読み込み。 (復習)Keywordをまとめプレゼンを作成する。	90	課題発見力 計画力 実行力 傾聴力
15週	前期まとめを行う。		前期に学んだことを発表できる。	(予習)前期まとめをアップロードする。前期のまとめを行う。	90	課題発見力 計画力 実行力 傾聴力
16～18週	<後期>プロジェクト提案の作成、デジタルコンテンツのコンセプト作りを行う。	講義 演習、18回目に進捗状況の報告後、グループウェアを通してフィードバックする。	プロジェクトの作成とそれに基づく計画表を作成できる。	(予習)夏休み中に参考文献を調べて、使用するテキストを決めておく。 (復習)アプリケーション・参考資料・作品コンセプト・計画表を作成する。	270	主体性 実行力 計画力 創造力 規律性
19～29週	プロジェクト提案に基づくデジタルコンテンツ制作を行う。	演習、21回目・24回目・27回目に進捗状況の報告後、グループウェアを通してフィードバックする。	チーム・制作者別に分かれてデジタルコンテンツ制作を行うことができる	(予習)プロジェクトの計画を確認する。 (復習)アプリケーション・参考資料・作品コンセプト・計画表を作成する。	990	主体性 実行力 計画力 創造力 規律性
30週	作品発表・相互評価・まとめを行う。	講義・演習後、グループウェアを通してフィードバックする	作品発表・相互評価・1年間のまとめを行う。	発表と同時に他作品に対して評価を行う。	90	主体性 実行力 計画力 創造力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

令和2年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	実務経験のある 教員による授業 科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
31109	総合ゼミナール Seminar (Health and Old welfare)	木村 典子		基礎	2	必修	2年通年

科目の概要

テーマ「健康について考えてみよう」
健康は人生を生き抜いていくために必要不可欠なものです。今日、多くの健康法が論じられています。身体・精神・社会面からホリスティックに人間を捉え、健康について考えてみたいと思います。また、多世代との交流の場を設けます。企画、運営、振り返りを通して、計画力を養ってもらいたいと思っています。健康に関することをテーマにして、アンケートや聞き取りを通して、健康について考えていきたいと思つています。多くの課題を社会人基礎力の要素を意識し、一つ一つ丁寧に実践、振り返りを通して、また、「真心・努力・奉仕・感謝」の四大精神を大切に、ゼミ生、多くの人たちとして、特にチームで働く力の修得を目指していきます。また、健康に関する検定にゼミ生、全員でとりくみ、自分の健康、家族をはじめとした周囲の人たちの健康についてもアドバイスできる能力を養うことを目指します。

学修内容	到達目標
健康評価の質問紙などを利用して、自らの健康状態をアセスメントすることを学ぶ 生活(生活リズム、食事、排泄、睡眠、活動、環境)と健康の関係を知り、自らの健康管理に結びつけることを学ぶ。 医療・福祉の現場に出かけ、体験的に現場の現状を学ぶ。 認知症カフェの運営、こどもまつり、高齢者サロン活動、学祭活動、健康調査を企画、運営、振り返りを通して、チームで働く力を身につけ、さまざまな年代の方と接し、健康とライフサイクルを学ぶ。 ゼミ活動をまとめ、ゼミ内、学内外、の場で発表し、発信力を養う。 健康管理能力検定3級、2級に向けて、挑戦をする。	健康評価指標をもとに、自らの健康状態を把握し、よりよい状態を保つための健康管理について説明できる。 生活(生活リズム、食事、排泄、睡眠、活動、環境)と健康の関係を知り、自らの健康管理に結びつけ、説明できる。 医療・福祉現場の機能と役割について述べることができる -1認知症カフェの運営、こどもまつり、高齢者サロン活動、学祭活動、健康調査を企画、運営、振り返りを通して、チームで働く力を身につけ、十分に発揮することができる。 -2活動を通して、さまざまな年代の方と接して、ライフサイクルの特徴と健康問題を説明できる。 資料を作成して、ゼミ活動を他者にわかりやすく伝えることができる。 健康管理能力検定3級、2級に合格する。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的な行動事例
---------------------	----------------------------

前に踏み出す力	主体性	自ら、必要な知識についてさらに深めた理解をするために、教科書文献を使って、自己学習ノートを作成できる。時間割内の他の活動にも、積極的に参加できる。
	働きかけ力	迷ったときや、困ったときに、他のメンバーや教員に助けを求めることができる。
	実行力	目標(ゼミ活動、検定合格)を設定して、知識習得のために、最後まで、やりぬくことができる。
考え抜く力	課題発見力	主観的情報、客観的情報を連動させて、課題を考えることができる。思いつきで行動しない。根拠あるデータをさぐることができる。
	計画力	目標(ゼミ活動、検定合格)を明確にし、計画を立て、チームで共有し、実行し、評価・修正し、次の行動に結びつけることができる。
	創造力	自己の固定観念にとらわれることなく、文献を活用したり、他者からの意見を取り入れ、考えることができる。
チームで働く力	発信力	グループで話し合った結果をパワーポイント・資料を作成し、発表原稿を準備し、発表できる。
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見が述べることができる。
	柔軟性	自分と異なる意見や考えを理解し、お互い譲歩できるところみだし、活動につなげることができる。
	状況把握力	メンバーの行動をみながら、自分の立ち位置を考えて行動できる。
	規律性	特別な事情がない限り、欠席をしない。無断欠席、遅刻、私語などに支障をきたす行動をせず、欠席した場合の分の補充ができるよう、クラスのメンバーなどに聞き、行うことができる
	ストレスコントロール力	メンバーとの調整がとれない、計画どおり進まないことがあっても、その原因を分析し、他のメンバーと相談し、前向きに行動することができる。

テキスト及び参考文献

テキスト：なし。随時、授業で紹介していく。
参考文献：なし

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：なし
資格との関連：なし

学修上の助言	受講生とのルール
事前、事後の学習を含め、具体的な事例を用いて解説したり、受講生の体験や意見を求めますので、日々、インターネットや新聞・雑誌等で情報収集に努めて、学習内容を理解するようにして下さい。事前に課題を出します。次回のグループワークにつながりますので行くこと。	講義と文献学習、実践、発表といった形式ですすすめていきます。学生参画型の授業をすすめていこうと考えています。授業では文献検索など、主体的に学習をして、健康について理解を深めてもらいます。多くの資料を読んでわかったことを自分の言葉で表現できることを求めています。また、授業態度は課題に対して社会人基礎力を培おうとしているか評価します。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験		①		
			②		
			③		
			④		
			⑤		
	小テスト		①		
			②		
			③		
			④		
			⑤		
	レポート	40	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> 自己の健康状態について指標を使い、健康管理方法が述べられている。 ライフサイクルと健康(こども、成人、高齢者)についてまとめている。 生活(生活リズム、食事、排泄、睡眠、活動、環境)と健康の関係をまとめ、自己の健康に結びつけている。 見学を通して、施設の役割を述べている。 活動を通して、接した人達とのコミュニケーションを通して学んだことを文献を踏まえて述べている。 ゼミ活動を通して、自己の変化を振り返り、次の目標をもっている。
			②	✓	
			③	✓	
			④	✓	
			⑤	✓	
成果発表(プレゼンテーション・作品制作等)	50	①	✓	授業の冒頭で、ゼミ活動の進捗状況を確認するために発表を行う。 ・2分間の発表、ランダムに発表者を指定する。 ・注目すべき理由、表現の仕方、説明の明瞭さを評価する。 ゼミ活動について発する機会を学内外で設けるその場で、他者にわかりやすく伝えるための資料を作成し、工夫をして伝えることができる。 「私の家族の健康マニュアル」が作成できる。 文献を活用して、エビデンスの高いデータをもとに、わかりやすく図や表を入れて作成できる。 ゼミの学外での活動、自己学習ノート、検定へとりくみについて評価する。	
		②	✓		
		③	✓		
		④	✓		
		⑤	✓		
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10	①	(主体性) 自ら、必要な知識についてさらに深めた理解するために、文献を使って、自己学習ノートを作成できている。ゼミ活動が円滑にすすむための資料を集めることができる。 (働きかけ力) 迷ったときや、困ったときに、他のメンバーや教員に助けられることができる。 (実行力) 目標を設定して、知識習得のために、最後まで、やりぬくことができている。 (課題発見力) 資料、教科書からわかったこと、自分の体験したことを、客観的に、運動させて考えることができる。 (計画力) 目標(ゼミ活動、検定合格)を明確にし、計画を立て、チームで共有し、実行し評価・修正し、次の行動に結びつけることができる。 (創造力) 課題を考えると、自己の固定概念にとらわれることなく、文献を活用したり、他者からの意見を取り入れ、考えることができている。 (発信力) グループで話し合った結果をパワーポイント・資料を作成し、発表原稿を準備し、発表できている。 (傾聴力) グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見がのべることができている。 (柔軟性) 自分と異なる意見や考えを理解し、お互い譲歩できるところみだし、活動につなげることができる。 (状況把握力) メンバーの行動をみながら、自分の立ち位置を考えて、行動できる。 (規律性) 無断欠席、遅刻、私語など講義に支障をきたす行動をせず、欠席した場合の分の補充ができるよう、クラスのメンバーなど聞き、行うことができている。 (ストレスコントロール力) メンバーとの調整がとれない、計画どおり進まないことがあっても、その原因を分析し、他のメンバーと相談し、前向きに行動することができる。	
			②		
			③		
			④		
			⑤		
総合評価 割合		100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>秀</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.自己の健康状態について指標を使い、健康管理方法を考察し、実践し、他者へアドバイスできる。 2.ゼミ活動を通して、接した人達、ゼミ生とのコミュニケーションを大切に、自己の変化を振り返り、常に次の目標をもつことが身についている。 3.ゼミ活動を企画・運営していくのと考えて、他のメンバーの意見を取り入れながら行い、タイムマネジメントができる。 4.レポート、作品が期日までにでき、わかりやすく他者に説明することができる。 5.ゼミの時間外での活動に積極的に参加することができる。 6.社会人基礎力に関する行動事例が達成できている。 <p>優</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.自己の健康状態について指標を使い、健康管理方法を考察し、実践し、他者へのアドバイスできる。 2.ゼミ活動を通して、接した人達、ゼミ生とのコミュニケーションを大切に、自己の変化を振り返り、目標をもつことが身についている。 3.ゼミ活動を企画・運営する他のメンバーの意見を取り入れながら行うことができ、タイムマネジメントができる。 	<p>良</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.自己の健康状態について指標を使い、健康管理方法を考察し、実践しようとする努力がわかる。他者へアドバイスするにはかなりのコメントを要する。 2.ゼミ活動を通して、接した人達、ゼミ生とのコミュニケーションを大切に、自己の変化を振り返り、次の目標につなげる行動がとれるようになってきている。 3.ゼミ活動を企画・運営していくのと考えて、他のメンバーの意見を取り入れようとしている努力が伺える。 4.レポート、作品が期日までにでき、他者に説明することができる。 5.社会人基礎力に関する行動事例が達成しようとする努力がある。 <p>可</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.自己の健康状態について指標を使い、健康管理方法を考察し、実践しようとする努力がわかる。他者へアドバイスするにはかなりのコメントを要する。 2.ゼミ活動を通して、接した人達、ゼミ生とのコミュニケーションを大切に、自己の変化を振り返り、次の目標につなげる行動がとれるようになってきている。 3.ゼミ活動を企画・運営していくのと考えて、他のメンバーの意見を取り入れようとしている努力が伺える。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	・オリエンテーション ・自己紹介 ・授業の進め方について ・ゼミの運営方法について ・私の思い出のお菓子と回想法	講義と演習	ゼミの方針を理解する 役割分担に積極的に協力する	(復習)自分のやりたいことをまとめてレポートにする(予習)まちづくりプロジェクトの発表の準備をする。私の思い出のお菓子の歴史と自分の成長をリンクさせて考えてみる	90	主体性 発信力 課題発見力 傾聴力 ストレスコントロール力
2週 /	生デまちづくりプロジェクト 矢作地区のまち歩き、市役所の統計データ、先輩の活動から、矢作北地域の特徴を調査する。	学外調査 フィールドワーク	地域の地理的特徴や歴史について図書館で調べたり、地域の人々に聞き取り調査をしたりするなどの行動がとれる	(復習)まち歩き、調査の結果をまとめる。(予習)PPで、発表できるようにする。学泉サロンでの内容の企画を計画してくる。	90 90	主体性 実行力 課題発見力 実行力 傾聴力 ストレスコントロール力
4週 /	私の成長と私の思い出のお菓子	プレゼンテーション 講義(回想法とは) 演習	回想法の効用と行い方について理解する。	(復習)回想法についてまとめる。(予習)認知症カフェ、サロン活動のレクリエーションとして活用できる回想法のツールを作成する。	90 90	主体性 発信力 課題発見力 実行力 傾聴力 ストレスコントロール力
6週 /	自分でできる健康度 客観的健康指標を使って、今の健康状態を評価する。 血圧、脈拍、アミラーゼ、皮膚の弾力性	プレゼンテーション 演習	客観的健康指標を使って、今の健康状態を評価していき、自分の健康について考えることができる。	(復習)自己の健康管理のレポート作成をする。(予習)ストレスと自律神経についてまとめる。	90 90	主体性 実行力 課題発見力 実行力 傾聴力 発信力
8週 /	心の健康と自己コントロール。文献を読んで、心の健康について考えていきます。	プレゼンテーション 演習	文献を読んで、自分の意見を発表できる。	(復習)発表のための資料作成心の健康手記を読んで考えたこと(予習)まちづくりプロジェクトの企画を考えてくる。	90 90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 発信力
9週 /	生デまちづくりプロジェクト 企画を考えていきます よりよいサロンの提案をKJ法を用いて、みんなで検討していきます。昨年地域住民からとったデータ、実際の活動から考える	演習 プレゼンテーション 協定書に基づく外部と連携した課題解決型学習	よりよいサロンについて、自分の言葉で説明できる。	(予習)皮膚感覚の解剖生理について調べてくるアロマセラピーの効用(復習)企画書の作成、実施後の振り返りの報告書作成	90 90	主体性 実行力 課題発見力 実行力 傾聴力 創造力
10週 /	アロマセラピーの効果について調べ、福祉現場で実施する。触れるケア背部マッサージハンドマッサージ	プレゼンテーション 実験エッセンス シャルオイルによつてのアミラーゼの変化	アロマセラピーの効果について調べ、福祉現場で実施の企画、運営、振り返りができる。	(予習)生活と健康について、ゼミで分担して調べる(復習)認知症カフェ、こどもまつり企画書の作成、実施後の振り返りの報告書作成	90 90	主体性 実行力 課題発見力 実行力 傾聴力 発信力
12週 /	生活リズム(日内リズム、睡眠、活動)と健康 認知症カフェ、こどもまつりに参加するために、企画書を計画し、予行練習する。 生デまちづくりプロジェクト よりよいサロンの提案 今までのサロン活動、認知症カフェ活動、まち歩き、調査したデータをもとに、よりよいサロンの提案ができる。	演習 プレゼンテーション	生活リズム(日内リズム、睡眠、活動)と健康の関係について説明できる。 企画、運営、振り返りができる。 A3一枚に、わかりやすく、矢作北地域の特徴をまとめ、		90 90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 発信力 ストレスコントロール力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
16週 17週 /	学校祭に参加について検討 生デまちづくりプロジェクト	演習 発表	企画、運営、振り返りができる。	(復習)企画書の作成、実施後の振り返りの報告書作成	90 90	主体性 実行力 課題発見力 実行力 傾聴力 発信力 計画力
18週 19週 /	まちづくりプロジェクト 認知症カフェに参加のための企画と準備	演習 協定書に基づく外部と連携した課題解決型学習	企画、運営、振り返りができる。	(予習)学祭に向けて、より良い品が提供できるように近隣のスーパーの市場調査ができる。(復習)企画書の作成、実施後の振り返りの報告書作成	90 90	主体性 実行力 課題発見力 実行力 傾聴力 発信力 計画力
20週 21週 /	学内グランプリに向けて、チームで、役割分担を決め、進める	演習 プレゼンテーション	具体的な行程表が作成でき、実施するためにメンバーと連絡がとれる。	(予習)学内グランプリの案を各自、考えてくる。(復習)企画書の作成、実施後の振り返りの報告書作成	90 90	主体性 実行力 課題発見力 実行力 傾聴力 発信力 計画力
22週 23週 24週 /	健康に関する調査を実施し、統計処理をし、まとめる。 KJ法にて質問紙を作成していく。 作った質問紙のプレ調査を実施 修正 調査の実施 統計処理 各分担で表、図の作成 発表資料の作成	演習 プレゼンテーション	各自の分担されたデータ処理し、まとめることができる。	(予習)健康に関する資料(意中誌)を収集し、書いてあることをまとめる。(復習)分担されたデータ処理し、まとめ、進捗状況を毎回、発表し、チームで話し合いができる資料を作成する。(90 90 90	主体性 実行力 課題発見力 実行力 傾聴力 発信力 計画力
25週 26週 /	ウォーキングの効用を調べ、矢作北地域の特徴を活かしたウォーキングマップの作成とウォーキングの実施	演習 プレゼンテーション	チームで分担し、ウォーキングマップが作成できる。 我が家の健康マニュアルの作成できる。	予習)ウォーキングの効用、矢作北地域の特徴を調べる。 (復習)チームで分担された資料を作成する。	90 90	主体性 実行力 課題発見力 実行力 傾聴力 発信力 計画力
27週 28週 /	我が家の健康マニュアルの作成 家族の健康状態を客観的データをもとに分析する。	プレゼンテーション 演習	具体的な行程表が作成でき、実施するためにメンバーと連絡がとれる。	(予習)我が家の健康問題を考えてくる。 (復習)我が家の健康マニュアルの作成する。	90 90	主体性 実行力 課題発見力 実行力 傾聴力 発信力 計画力
29週 30週	健康を保つためにゼミ活動の発表 学生フォーラムなど学外で、ゼミ活動の成果を発表	演習	具体的な行程表が作成でき、実施するためにメンバーと連絡がとれる。	(予習)一年のゼミ活動を発表するための資料を収集する(復習)一年のゼミ活動を振り返り、自己学習ノートを整理、作成	90 90	主体性 実行力 課題発見力 実行力 傾聴力 発信力 計画力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

令和2年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	実務経験のある 教員による授業 科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
31109	総合ゼミナール Seminar (Computer Skills and Communication Skill)	菅瀬君子		共通		必修	2年通年

科目の概要

テーマ：パソコンスキルとコミュニケーションスキルを身につけよう！
スマートフォン活動によりパソコンが使われなくなり、パソコン操作に苦手意識をもつ若者が増えてきたという報告がある。このゼミでは、実務レベルで使えるパソコンスキルの習得をめざし、文書作成ソフト“word”とプレゼンテーション作成ソフト“PowerPoint”、表計算ソフト“Excel”の操作を学び実務力を身につける。さらに、パソコンの実践活動として「高齢者対象パソコン教室」を開催、また、対人関係能力「コミュニケーション力」を養うため、地域貢献活動・産学官連携活動に積極的に取り組み、世代間交流を図る。“社会人基礎力育成12の能力要素”、四大精神「真心・努力・奉仕・感謝」を意識し、パソコンのスキルを活かした活動を実践する。ゼミの活動記録として「ゼミ思い出集」を制作する。個の力を高めチームで働く力を意識し人間性を高める。

学修内容	到達目標
①MicrosoftのWord、Power Point、Excelの操作技術を学び、上級レベルの検定試験の受験合格をめざす。 ②木曜サロン活動で、パソコンの実践活動として「高齢者対象パソコン教室」を開催し実務力を身につける。 ③地域貢献活動、地元の祭り「花の塔」「やはぎ飛鳥まつり」、東北被災地復興支援活動を通して、チームで働く力を身につけ、世代間交流を図りコミュニケーション力を身につける。 ④産学連携事業の一環として、岡崎市南公園のイベント「春まつり・秋まつり」、「みなどんと遊ぼう」への協力。 ⑤「ゼミ思い出集」Wordの操作を駆使して作成。高度なパソコンスキルを身につける。	①パソコンのスキルを向上することによりパソコン操作に自信を持つことができ上級レベルの検定試験に合格できる。 ②「高齢者対象パソコン教室」を開催し、教えることにより、実務力が身に付き、パソコン操作の苦手意識がなくなる。 ③地域貢献活動、地元の祭り、復興支援活動を通して、チームで働く力（状況把握力・規律性）、コミュニケーション力を向上することができる。 ④社会人基礎力の能力要素、「計画力・創造力・発信力」が身に付き、達成感が感じられ、自身の成長が実感できる。 ⑤「ゼミ思い出集」を制作することで、Wordの操作技術の向上につなげることができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	書作成ソフト“word”とプレゼンテーション作成ソフト“PowerPoint”、表計算ソフト“Excel”検定試験（日本語ワープロ・文書デザイン・プレゼンテーション作成・情報処理）において、2級以上に合格できるよう、授業時間外で自主的に粘り強く努力をすることができる。
	働きかけ力	自分で解決できない問題を、周囲の人に対し働きかけ協力をしてもらいすることができる。
	実行力	科目概要の内容を理解し、知識・技術を身につけ、グループまたは自分で立てた目標を達成できるように、具体的に行動を起こし、最後まで粘り強くやりぬくことができる。
考え抜く力	課題発見力	学修内容①～⑤の内容を理解し、達成目標に達成するために必要なことを整理し、自分の学修上の問題点を解決するために解決策を考えることができる。
	計画力	パソコンの操作を駆使し、地域活動に必要な缶バッジ、うちわ、コンテスト作品制作において、期日までに完成させるために必要な実施計画を提案できる力を養うことができる。
	創造力	授業で修得したことを応用し、缶バッジをデザインする際、独自のアイデアを表現できる。
チームで働く力	発信力	パソコンの操作方法の指導を受ける際、疑問点をわかりやすく説明することが、言葉だけでは伝えにくい場合は、パソコンのディスプレイを活用し説明する工夫ができる。
	傾聴力	指導者から、検定試験に合格するためのパソコン操作テクニックを受ける際、聴く姿勢が見られ、必要なことをメモする、不明な点は質問し、正しく理解する行動ができる。
	柔軟性	自分の意見・提案が他の人と異なっても、相手の意見を受け入れようとする姿勢をもつことができる。
	状況把握力	グループの仲間の行動を把握しながら、期日までに間に合うよう計画を立て完成させることができる。
	規律性	指示やルールは全て守ることができる。
	ストレスコントロール力	時間の調整が取れず、計画通りに準備が進まないことがあっても前向きに行動することができる。

テキスト及び参考文献

テキスト：なし
参考文献：日本語ワープロ・文書デザイン・プレゼンテーション作成検定試験模擬問題集（日本情報処理検定協会編）

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：コンピュータ基礎演習、Word応用演習、Power Point演習、Excel基礎・応用演習、コミュニケーション能力開発
資格との関連：情報処理士・ビジネス実務士・上級秘書士（メディカル秘書）

学修上の助言	受講生とのルール
タイピングソフト「特打ちメソッド」での自主練習をしましょう。検定試験では、受験級合格のために、粘り強く努力しましょう。地域貢献活動では、ゼミの仲間とともに協力し、活動を通して自分の目標を達成するために粘り強く取り組みましょう。	地域貢献活動では、ゼミ一丸となり取り組む姿勢を常に意識し、仲間に迷惑をかけないよう行動（遅刻・欠席など）することを心がけましょう。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記(レポート含む)・実技・口述試験		①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト			①			
					②			
					③			
					④			
					⑤			
		レポート					①	
							②	
							③	
							④	
							⑤	
成果発表(プレゼンテーション・作品制作等)		90		①	✓			
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
社会人基礎力(学修態度)		10		①	✓			
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
総合評価 割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S(秀)評価 ①3種の検定試験(日本語ワープロ・文書デザイン・プレゼンテーション作成)において、2級以上に合格した。 ②パソコンの操作を駆使し、缶バッジ、うちわの作成、コンテスト作品制作において、オリジナリティにあふれたデザインを考える事ができている。 ③学外活動(地域貢献活動)において、主体的に活動に参加し、世代を超えた人たちとコミュニケーションを図り、ゼミの仲間と共に協力し、よりよい活動するために努力し取り組むことができている。 ④「ゼミ思い出集」制作を通して、Wordの操作を駆使し制作できた。 ⑤学習態度にある7項目が達成できている。</p> <p>A(優)評価 上記項目①②③④ができている。⑤の学習態度にある7項目のうち【規律性】を含む6項目が達成できている。</p>	<p>B(良)評価 ①3種の検定試験(日本語ワープロ・文書デザイン・プレゼンテーション作成)において、3級に合格した。 ②缶バッジ、うちわの作成、コンテスト作品制作において、パソコンの操作上、わからない操作を身に付け 作品を完成できた。 ③学外活動(地域貢献活動)において、世代を超えた人たちとコミュニケーションを図り、ゼミの仲間と共に協力し、よりよい活動するために努力し取り組むことができている。 ④「ゼミ思い出集」制作を通して、Wordの操作を駆使し制作できた。 ⑤学習態度にある7項目のうち【規律性】を含む5項目が達成できている。</p> <p>C(可)評価 上記項目①②③ができている。⑤の学習態度にある7項目のうち【規律性】を含む4項目が達成できている。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1 /	○ガイダンス 前期ゼミ授業の進め方 ゼミ活動の取り組み概要説明仲間つくりと育成する能力※タイピング練習	講義 ワーク	ゼミ活動を理解する ゼミ活動を通しての自身の目標を決めることができる ※タイピング文字数350	(予習) ゼミの内容を把握する 活動を通してどのように成長したいか目標を考える	60	傾聴力 発信力
2 /	学外活動「花のとう」祭りにブース参加するため、役割分担と準備“	演習 技術のレクチャー 活動準備のフィードバックをする	・パソコンで缶バッジ原寸図に絵柄をデザインし、バッジに仕上げる事ができる ・缶バッジマシンの取扱い、記念缶バッジ制作) ※タイピング文字数350	(予習) 「花のとう」での役割を確認してくる。缶バッジ原寸図の絵柄のデザインを考えてくる。 (復習) 缶バッジマシンの使い方を復習しておく	90	課題発見力 主体性
3 /	かわいい缶バッジをつくろう”				90	
4 /	・来客者への記念バッジの制作				90	
4 /	・その他準備 (缶バッジ原寸図、ポップ等) ・スタンプラリー景品の考案 ・当日の役割表、タイムスケジュール作成 ※タイピング練習					
5 /	学外活動「花のとう」での作業の確認 ・役割分担 ・タイムテーブル ・缶バッジマシーン仕様 ・缶バッジキッド制作	演習 技術のレクチャー 活動作業のフィードバックをする	・缶バッジマシンの仕様が正確に理解できている	(予習) 役割確認 (復習) 缶バッジマシンの仕様、タイムテーブルの確認する	120	主体性 実行力
6 /	「花のとう」でのブース販売を実施 ・販売、接客を経験する ・来客者とのコミュニケーションを図る	学外活動 (実習) 活動後フィードバックをする	・集合時間を守り、仲間と協力し活動ができる ・自分の担当した役割を果たすことができる	(予習) 缶バッジ材料の確認をする 缶バッジの作り方の手順の説明の確認をする。	120	主体性 実行力
7 /	・缶バッジの制作指導をする 「花のとう」活動の振り返り ・スライド作成 ・各自が発表 ・セルフチェックシートの活用	発表 学外活動を振り返り 発表のフィードバックをする	活動の振り返り、意見が発表できる	(予習) 活動のまとめ、発表の準備をする	90	発信力 創造力
8 /	日本語ワープロ検定試験「準2級・2級」レベルに出題されるWordの機能操作を学ぶ	演習 日本語ワープロ検定試験出題のフィードバックをする	ビジネス文書ルール、表と地図の作成ができ、10分間速度入力400文字以上が入力できる	(復習) 効率よく地図作成できる操作を復習する タイピング練習	180	創造力 実行力
9 /	パソコンスピード認定試験準備と対策をする					
10 /	文書デザイン検定試験「2級」・レベルに出題されるWordの機能操作を学ぶ	演習 文書デザイン検定試験出題のフィードバックをする	作成例に従い、画像挿入塗りつぶし・図表作成ができる	(復習) 作成例に従い、処理条件を正確に理解し復習する	180	発信力 傾聴力
11 /	パソコンスピード認定試験準備と対策をする					実行力 主体性 創造力
12 /	プレゼンテーション作成検定試験「3級・2級」に出題されるPowerPointの機能操作を学ぶ	演習 プレゼンテーション作成検定試験出題のフィードバックをする	スライドに、画像・図表・グラフ作成と挿入ができる アニメーション・画面切替ができる	(復習) 画像・図表・グラフ作成、アニメーション・画面切替操作を復習する	180	実行力 主体性 創造力
13 /						実行力 主体性 創造力
14 /	日本語ワープロ・文書デザイン・プレゼンテーション作成検定試験模擬試験を実施する 採点する(注意点を学ぶ)	演習 3種の検定試験模擬出題のフィードバックをする	3種の検定試験を各自で採点し、注意点が理解できる	(予習) タイピング練習 (復習) 検定試験に向け模擬問題を復習する	90	実行力 主体性 創造力
15 /	・検定試験受験(1回目)実施 日本語ワープロ・文書デザイン・プレゼンテーション・スピード認定 ・前期の振り返りと発表 ・セルフチェックシート ・後期に向けての確認	検定試験 検定試験のフィードバックをする 講義	・自分が受験した級の出題問題に対し合格点に達する解答ができた ・前期を振り返り、感想が発表できる ・後期の改善点を話し合うことができる。	(予習) 受験する検定試験の確認と練習をする。	90	実行力 主体性 創造力
						発信力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
16 /	○ガイダンス 前期の振り返り、後期のゼミ概要説明 後期ゼミ授業の進め方 仲間つくりと育成する能力	講義 演習	前期ゼミ活動で学んだことを活かした、更に上の目標を決める	(予習) 後期ゼミ活動にむけ、更に高い目標を考える	60	課題発見力 計画力 傾聴力
17 /	日本情報処理検定協会主催 文書デザインコンテスト応募概要説明 コンテスト作品準備 (情報収集・デザイン) 応募作品の完成	講義 技術のレクチャー 演習	コンテスト締切日までに作品を完成させることができた	(予習) 作品完成のために時間外で、情報収集と現地調査をする デザインを考案する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 計画力 発信力 ストレスコントロール力
18 /					90	
19 /					90	
19 /					90	
20 /	○地域貢献活動 「やはぎ 飛鳥まつり」 「岡崎市南公園 秋まつり」	演習 技術のレクチャー 準備作業について フィードバックをする 学外活動 (実習) 活動後フィードバックをする	・パソコンで缶バッチ原寸図に絵柄をデザインし、バッチに仕上げることができる ・集合時間を守り、仲間と協力し活動ができる ・役割を果たせる ・参加者とコミュニケーションを図り楽しく活動することができる	(予習) 前期に行った「花のとう」での役割を確認し、改善点を確認する (復習) 缶バッチ原寸図に絵柄を挿入する操作の確認をする 役割の確認をする 缶バッチ原寸図の絵柄デザインを考案する 缶バッチマシンの使い方を復習する	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 計画力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
21 /	90					
22 /	90					
22 /	90					
23 /	90					
24 /	90					
24 /	90					
24 /	90					
25 /	日本語ワープロ・文書デザイン・プレゼンテーション作成検定試験	講義 演習 模擬試験	・3種の検定試験を各自で採点し、注意点が理解できる ・自分が受験した級の出題問題に対し合格点に達する解答ができた	(予習) タイピング練習 (復習) 受験する検定試験の過去出題問題の確認をする 受験する級の模擬問題を復習する	180	主体性 実行力 課題発見力 状況把握力 傾聴力
26 /	180					
27 /	180					
27 /	180					
28 /	「ゼミ思い出集」作成準備 ・資料の収集 ・画像・図形・イラストを挿入して作成する 「ゼミ思い出集」データ完成 1年間のゼミ活動の振り返り セルフチェックシート	演習 技術のレクチャー ゼミ集作成のためのフィードバックをする 1年間のゼミ活動のフィードバックをする	・資料を収集できる デザインを考えることができる ・自身の短大2年間の思い出をWordで作成しまとめることができる	(予習) 昨年度のゼミ集を参考に、作成のための資料を集める (情報収集) デザインを考案 ゼミ集完成締切まで制作計画を立てる	180	主体性 実行力 課題発見力 規律性
29 /					180	
30 /					90	
30 /					90	

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

令和2年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	実務経験のある 教員による授業 科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
31109	総合ゼミナル Seminar (Japanese Culture and Making Books)	千賀 敬之		基礎	2	必修	2年通年
科目の概要							
このゼミは、日本文化と和綴じ本づくりを通して、伝統と現代に生きる自分を探求しようとするものです。30回の授業を通して、前半は、この地域の衣食住や遊び、仕事などを、過去から現在まで調べ、地域や人々の特色を探りながら、ゼミ全体で協働して一冊の本を創作します。後半は、自分自身の興味・関心から、自己を表現するものとして、世界に一冊の自分の本を創作します。本づくりを通して「建学の精神」「社会人基礎力」「pisa型学力」を学修します。							
学修内容				到達目標			
① 和綴じ本の製作方法を学ぶ。 ② 衣食住や遊び、仕事などを調査する方法を学ぶ。 ③ 本づくりのテーマを構想し、計画を立てる。 ④ グループでコミュニケーションを取り、発表する。 ⑤ 行事など具体的な場面で率先して動くことを学ぶ。				① 江戸時代の和綴じ本の複製を作ることができる。 ② 調査方法を考え、調査結果をまとめることができる。 ③ テーマを見つけ、その実現につとめることができる。 ④ 人の話を聞き、自分の意見を言うことができる。 ⑤ 円滑な行事運営ができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏 み出す 力	主体性	授業で取り組む調査や本づくりなどに、自ら積極的に取り組むことができる。					
	働きかけ力						
	実行力	目標を定め、課題への取り組みを確実に進めていくことができる。					
考え抜 く力	課題発見力	地域の衣食住や遊び、仕事などの調査結果から、課題がを発見し、確認・把握することができる。					
	計画力	各自またゼミ全体の作品制作について、タイムスケジュールを立てて、そのように実行できる。					
	創造力	自分の考えるテーマについて、独自の表現ができ、和綴じ本などを創作できる。					
チーム で働く 力	発信力	調査内容、グループで話した内容、創作本の表現をポイントが伝わるように発表することができる。					
	傾聴力	ゼミ活動の重点、他の学生の発表や創作の要点、グループ内の発言を的確につかみ、対応することができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻・欠席・居眠り・私語をしないことや、準備・片付けの協力をすることなど、社会一般の規則・ルール・マナーを常に守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：なし、プリントを用意する。 参考文献：江戸期の絵本、愛知の文学、あいちウェブ文学館など							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：なし 資格との関連：なし							
学修上の助言				受講生とのルール			
和綴じ本の制作方法を、江戸時代の和綴じ本の複製を作ることによって学修する。グループで制作する本について、テーマ・分担を話し合い、協力して制作する。各自の制作する本は、オリジナルティーのあるものとする。				地域社会・日本文化に興味・関心を持ち、積極的に調査や創作活動を行うこと。よく聞き、考え、課題に積極的に取り組み、話し合うことを通して、自己の表現力の向上に努めること。			

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験		①				
			②				
			③				
			④				
			⑤				
	平常評価	小テスト		①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
		レポート	20	①		✓	現地調査や文献調査により、課題をよく調べ、わかりやすくまとめることができる。
				②			
				③			
				④			
				⑤			
成果発表 (プレゼンテーション・作品制作等)	70	①	✓	内容が充実してまとまりがあり、わかりやすい発表である。 パワーポイントの制作や発表原稿のシナリオ制作で能力を発揮する。 江戸期の絵本の複製本を制作できる。 共同のテーマで、和綴じ本が制作できる。 自ら選んだテーマで、和綴じ本が制作できる。 図書館推薦本コーナーの展示デコレーションを制作できる。			
		②	✓				
		③	✓				
		④	✓				
		⑤	✓				
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10	①	✓	(主体性) 調査や作品制作に、積極的に取り組むことができる。 (実行力) 目標への取り組みを確実に進めていくことができる。 (課題発見力) 調査結果から課題を発見し、解決策を考察する。 (計画力) 各回で進める内容を、作業量や作業時間から計画を立てられる。 (創造力) 調査結果を踏まえて、独自の作品を創作できる。 (発信力) 聞き手に分かりやすく、自らの考えを発表できる。 (傾聴力) 他の者の話を聞き、課題を考察し、理解を深めることができる。 (規律性) 遅刻、欠席、学習意欲欠如をなくし、ゼミ進行に協力するなど、受講態度を整える。		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
総合評価 割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
Sは、自ら進んで計画的に物事を進め、制作の仕方も丁寧で、その作品も優れている。演習・グループ学習とも積極的に、自己主張のみでなく、他者を配慮した議論が進められる。リーダーシップがあり、説得力のある発表ができる。 Aは、Sまではいかないが、上記内容を概ね充足している。	Bは、自ら進んで物事を進め、制作の仕方も丁寧で、その作品は欠点はなく、まずまずである。演習・グループ学習ともよく加わり、進行に貢献する役割を果たすことができる。リーダーを補佐する役割を果たすことができる。 Cは、上記内容を概ね充足しているが、積極性に欠ける。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週	オリエンテーション ゼミナールの概要と年間計画を学ぶ。	講義・演習 シラバスと社会人基礎力を育む学泉ノートにより、ゼミナールの概要と年間計画を学修する。	ゼミナールの概要と年間計画を理解できる。	(復習) ゼミナールの年間計画に各自の目標を位置付ける。	90	実行力 傾聴力 規律性
2週	和綴じ本の制作の仕方を学ぶ。	演習・演習 和綴じ本制作テキストを読み、制作方法の概略を理解する。	和綴じ本の仕組みを理解できる。	(予習) 和綴じ本の構造と材料、道具への理解を深めておく。 (復習) 和綴じ本制作テキストから、制作経過を振り返る。	90	実行力 傾聴力 規律性
3週	和綴じ本の制作の仕方を学ぶ。	講義・演習 制作を通して、和綴じ本の仕組みを振り返り、一人一人にフィードバックする。	江戸期の絵本の複製を作ることができる。	(予習) テキストにより、これからの製作作業をシミュレーションする。 (復習) 制作手順を理解する。ポイントについては復習する。	90	実行力 規律性
4週	和綴じ本の内容を学ぶ。	講義・演習 和綴じ本の内容を現代語により、学修する。図書館ラーニング commons で調査する。	江戸期の絵本の内容が理解できる。	(予習) 変体仮名を翻刻した資料により、本の内容を予想する。 (復習) 読解プリントにより、本の内容を捉える。	90	主体性 傾聴力
5週	和綴じ本の内容を学ぶ。	講義・演習・グループワーク 前時の内容を振り返るとともに、さらに深く学修する。	江戸期の絵本の内容が理解できる。	(予習) その他の資料により、本の内容を捉える。 (復習) 追加資料により、和綴じ本の内容を復習する。	90	主体性 実行力 課題発見力
6週	衣・食・住、遊び、仕事のテーマを選択し、昔と今の有様を調査する。	講義・演習・グループワーク 図書館のラーニング commons で調査テーマについて、グループワークを行う。	選択した項目について、図書館・インターネットなどから調査できる。	(予習) 文字情報だけでなく画像情報も調べ、スケッチに残しておく。 (復習) 各自調査テーマを確認する。	90	主体性 実行力 課題発見力
7・8週	衣・食・住、遊び、仕事のテーマを選択し、昔と今の有様をレポートにまとめ、発表する。	講義・演習 初めに調査のポイントを振り返る。各自文書化した内容を振り返り、他者に伝える。	各自調査した内容を、コンピュータで文書化できる。また、それをゼミで発表し、質疑応答できる。	(予習) 画像も含め、A4で2ページに収まるように準備する。 (復習) 他者の発表のポイントを確認する。	90 90	主体性 実行力 課題発見力
9・10週	各自がゼミで制作する創作本のテーマを考える。	講義・演習 創作本について制作方法を学修する。	さまざまな創作本の製作方法を理解できる。	(予習) 提案する創作本のアイデアを考えておく。 (復習) 創作本の制作方法をプリントにより振り返る。	90 90	主体性 発信力 傾聴力 計画力
11・12週	ゼミで制作する創作本のテーマを考える。	講義・演習・発表 初めに前回取り上げた内容を振り返る。グループワークで、各自のアイデアを発表し、一つにまとめる。	制作する創作本のテーマのアイデアを提案できる。	(予習) 創作本の方式・絵・言葉を考えておく。 (復習) ゼミで制作する作品の内容を確認する。	90 90	実行力 発信力 創造力 傾聴力 計画力
13週	ゼミ創作本を制作する。	演習・グループワーク それぞれのアイデアを確認する。役割分担により、制作を進める。	創作本の作成計画を立て、役割分担ができる。	(予習) 制作に必要な物品を揃える。 (復習) 役割分担した部分の計画・制作を行う。	90	主体性 実行力 創造力
14週	ゼミ創作本を制作する。	演習・グループワーク 役割分担と分担内容を振り返る。制作作業を進める。	役割を分担した作成計画に沿って、各自が分担した部分の制作を進めることができる。	(予習) 創作本の作画を進める。 (復習) 制作の進捗状況を確認する。	90	実行力 主体性 創造力
15週	創作本を制作するのと並行して、パワーポイント・シナリオの作成を進める。	演習 各自の進み具合を確認する。グループワークにより、ほぼ完成に近いところまで制作作業を進める。	作成計画に沿って、制作を進めることができる。	(予習) 創作本の作画を進める。 (復習) 制作の進捗状況を確認する。	90	実行力 主体性 創造力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
16週	創作本をデジタル化するとともに、実物の完成とパワーポイント・シナリオの読み合わせを行う。	演習・発表 制作物とパワーポイント・発表方法を確認する。	作成計画に沿って、制作を進めることができる。	(予習) 発表会での役割分担を決め、シナリオ案を練る。 (復習) シナリオを手直しする。	90	実行力 発信力 創造力 傾聴力
17週	古典文学に書かれたこの地域の姿を学ぶ。	講義・演習 後半の内容を確認する。三河の古典を学修する。	「更級日記」「今昔物語集」「東関紀行」「東海道中膝栗毛」(三河部分)の内容が理解できる。	(予習) 作品を発表できるよう準備する。 (復習) 三河の古典を振り返る。	90	主体性 実行力 発信力 傾聴力
18週	近代・現代文学に書かれたこの地域の姿を学ぶ。	講義・演習 古典に書かれたこの地域を復習する。三河の近現代を学修する。	柳田国男「海上の道」井上靖「しろばんば」尾崎士郎「人生劇場」司馬遼太郎「街道を行く」(三河部分)の内容が理解できる。	(予習) 作品を発表できるように準備する。 (復習) 三河の近現代を振り返る。	90	主体性 実行力 発信力 傾聴力
19週 ・ 20週	図書館入り口の「教員から学生への推薦図書」コーナーのデコレーションを制作する。	演習・グループワーク 教員の推薦意図を考え、ふさわしい飾りつけを話し合い、制作担当を割り振り、制作し、飾り付ける。	協力して推薦図書の飾りつけができる。	(予習) 推薦図書の飾りつけの準備をする。 (復習) 飾りつけを振り返る。	90 90	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力
21週	さまざまな和綴じ本を鑑賞する。	講義・演習 近現代に書かれたこの地域を復習する。喜多川歌麿「画本虫撰」の内容を学修する。	喜多川歌麿「画本虫撰」の内容が理解できる。	(予習) 作品「画本虫撰」の優れたところをまとめる。 (復習) 喜多川歌麿「画本虫撰」の内容を確認する。	90	課題発見力 傾聴力
22週	さまざまな浮世絵・和綴じ本を鑑賞する。	講義・演習 初めに「画本虫撰」の内容を復習する。歌川広重「東海道五十三次」葛飾北斎「北斎漫画」の内容を学修する。	歌川広重「東海道五十三次」葛飾北斎「北斎漫画」の内容が理解できる。	(予習) 作品「東海道五十三次」「北斎漫画」の優れたところをまとめる。 (復習) 歌川広重「東海道五十三次」葛飾北斎「北斎漫画」の内容を確認する。	90	課題発見力 傾聴力
23週	オリジナル和綴じ本作品制作を構想する。	講義・演習 初めに「東海道五十三次」「北斎漫画」を復習する。各自でオリジナル和綴じ本創作のテーマ及び内容の構想を立てる。	オリジナル和綴じ本創作のテーマ及び内容の構想を確定できる。	(予習) どのような和綴じ本を制作するか、あらかじめ構想しておく。 (復習) 各自の計画を見直す。	90	主体性 実行力 計画力
24週	オリジナル和綴じ本作品制作計画を立案する。	演習・発表 各自の立てた計画をゼミの中で発表し、それぞれに感想を出し合う。	各ページごとの表現プランを立てることができる。感想を言うことができる。	(予習) 各ページの内容・進行について計画を立てる。 (復習) 他の学生の計画を確認するとともに、自分の計画を手直しする。	90	主体性 実行力 計画力
25週 ・ 26週 ・ 27週	オリジナル和綴じ本作品制作を進める。	演習 毎回、前回の進捗状況を振り返る。各自で計画に沿って作業を進める。	ページごとの描画と文章を進めることができる。	(予習) 各週ごとに、ページの内容・進行の計画を確認し、準備を進める。 (復習) 各週ごとに、進捗状況を確認するとともに、遅れている点を進めていく。	90 90 90	主体性 実行力 創造力
28週	オリジナル和綴じ本作品制作デジタル化作業	講義・演習 初めに進捗状況を発表する。原本からデジタル化することを学修する。	原本からデジタル化することができる。	(予習) 文章をデジタル化した時の字体とポイントをあらかじめ考えておく。 (復習) デジタル化の作業を振り返る。	90	主体性 実行力 創造力
29週	オリジナル和綴じ本作品制作製本作業	演習 デジタル化したものを確認する。	オリジナル和綴じ本作品の製本を行い、作品を完成できる。	(予習) 材料を整え、製本する。 (復習) 発表原稿を確認する。	90	主体性 実行力 創造力
30週	オリジナル和綴じ本作品制作鑑賞会	演習・グループワーク 制作過程全体を振り返る。作品を鑑賞しながら、相互批評する。	各自の作品を鑑賞しながら、相互批評することができる。	(復習) 制作物を展示し、1年間の成果をまとめる。	90	実行力 発信力 創造力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

令和2年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	実務経験のある 教員による授業 科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
31109	総合ゼミナール Seminar (Fashion Produce)	長谷川えり子		基礎	2	必修	2年通年
科目の概要							
<p>テーマ：「ファッションプロデュース」 ファッションを通して、様々な視点から物事をとらえ、社会人として自立するための人間力を養っていく。ファッション業界（アパレル、ブライダル、ビューティーなど）の動向をとらえ、トレンドを分析する。また、ファッションビジネスプロジェクトとして、アクセサリショップの开店、全国販売に向けたアクセサリの商品化を行い、企画、制作、販売能力を育成する。ゼミ活動を通して、様々なファッションシーンを体験することでファッション感覚を磨き、楽しみながらファッションセンスを向上させる。また、プロジェクト活動の場面で建学の四大精神を実践し、社会人基礎力を発揮し、自らの可能性を伸ばしていく。</p>							
学修内容				到達目標			
① ファッション業界（アパレル、ブライダル、美容）について動向を捉え、トレンドを分析する。 ② プロジェクト①全国販売されるアクセサリの商品化を目指し、産学連携活動に取り組む。 ③ プロジェクト②学外、大学祭において、アクセサリショップを出店し、商品を企画、制作、販売する。 ④ プロジェクト③地域の方を対象にアクセサリ制作の講座を開催し、魅力を発信する。 ⑤ プロジェクト④ファッションショーにて、ゼミ活動の成果を発表する。				① 業界の現状を知り、流通のながれを捉え、トレンド傾向をまとめることができる。 ② ファッション市場で売れるアクセサリをデザインし、連携先の企業側にプレゼンテーションができる。 ③ アクセサリショップを出店に際して、企画力、制作、販売スキル発揮し、運営することができる。 ④ 地域の方を対象とした講座を実施し、もの作りの楽しさ、アクセサリの魅力を発信することができる。 ⑤ ファッションシーンを通して、最適なトータルファッション提案ができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	ファッショントレンド情報を積極的にキャッチし、ファッション業界の商品のながれや動向を捉える。					
	働きかけ力						
	実行力	ファッションプロジェクトをチームで協力して進め、実行することができる。					
考え抜く力	課題発見力	ファッションプロジェクトを進める中で、目標を達成するための問題点を考えながら取り組む。					
	計画力	ファッションプロジェクトを進める中で、達成目標に対してスケジュールを計画し、途中で点検しながら実行する。					
	創造力	自分の好きなファッションだけでなく、様々なファッションスタイルを通して、新しい発想のもとアイデアを提案する。					
チームで働く力	発信力	ファッショントレンドをとらえ、分析し、シーンに合わせた提案ができる。					
	傾聴力	チーム活動では、周りの人の意見を十分に聞きながら行動する。					
	柔軟性	チーム活動では、お互いに思いやり、意見の相違があった場合でも理解し合って進めていく。					
	状況把握力						
	規律性	無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：なし 教員作成の資料により進める。 参考文献：MODE ET MODE							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：ファッションコーディネート演習、ファッションアクセサリーズ、ショッププロデュース、アパレルCAD 資格との関連：なし							
学修上の助言				受講生とのルール			
普段からファッションに興味を持ち、様々なメディアを通して情報に触れよう。また、ファッション販売の現場にも出向き、トレンドを捉え、消費者の動向を観察しよう。				ゼミ活動を通して、ゼミ生相互の親睦をはかり、協調性を身につけ、お互いに成長できるように、目標に向かって努力しよう。			

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験		①			
			②			
			③			
			④			
			⑤			
	平常評価	小テスト		①		
				②		
				③		
				④		
				⑤		
		レポート		①		
				②		
				③		
				④		
				⑤		
	成果発表 (プレゼンテーション・作品制作等)	90	①	✓		<ul style="list-style-type: none"> ・全国販売するアクセサリーの商品化を目指して、商品の企画、プレゼンテーションを行う。PPによるプレゼンテーションでは、商品のポイントをわかりやすく、魅力的に発信することができているかを評価する。 ・アクセサリー作品を制作し、販売する。ファッショントレンドをとらえ、季節、スタイルに合った作品を評価する。細部にわたって、丁寧に制作できているかを確認する。制作したアクセサリーは1点1点仕上りを教員が確認する。不備な点は修正する。 ・ファッションショーで作品を披露する。ファッショントレンドを反映し、自己表現としてオリジナリティ溢れたファッションスタイルを評価する。 作品発表会後にショーDVDを視聴して作品の講評を行う。
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> (主体性) ファッショントレンド情報を積極的にとらえ活かされているかを作品(アクセサリー、衣裳)で評価する。 (実行力) チームで協力して進めることができているか、報告書より評価する。 (課題発見力) 目標を達成するための問題点を考えながら取り組むことができたかを報告書より評価する。 (計画力) 達成目標に対してスケジュールを途中で点検しながら実行できたかを判断する。 (創造力) 様々なファッションスタイルに刺激を受け、新しい発想のもとアイデアが提案できたを作品により評価する。 (発信力) チーム活動では自分の意見をわかりやすく伝えることができたか、活動状況を通して評価する。 (傾聴力) チーム活動では、周りの意見をしっかりと聞きながら行動できたか、活動状況を通して評価する。 (規律性) 学習意欲欠如をきたす行動をせず、ルールを守ることができる 欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。 	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
総合評価 割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>A：ファッションプロジェクトに対して、積極的に取り組み、チーム全体で成果を上げ、社会人基礎力の能力を実践できた。ファッションに関わることで、ファッションセンスが磨かれ、様々なシーンのファッション提案ができる。</p> <p>S：上記に加え、チーム全体に働きかけ、自己の成長ぶりが作品に成果として表現できている。</p>	<p>B：ファッションプロジェクトを理解し、チームで協力して実施することができた。ファッションを通して、自己表現することができる。</p> <p>C：上記の基準に対して、プロジェクト活動に対して前向きな努力が見られない。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	授業の進め方について ゼミ活動についての取り組み方の説明、 役割分担を行う。 メンバーの自己紹介を行う。	講義、演習 話し合い	ゼミの目標を理解し、ゼミの概要 を捉え、役割分担することができる。	(予習) シラバスを読み、 前期の内容をとらえる。 (復習) ゼミ活動での個人 目標を設定する。	60	傾聴力 発信力
2	ファッション業界の概要について 就職を意識して、ファッション業界の現 状を解説する。	演習 説明後、パソコンにより 情報収集し、プリントに まとめる。	ファッション業界研究を行い、就 職に活用することができる。	(予習) ファッション業界 の会社を調べる。 (復習) 進路に合わせた業 界の動向を調べる。	60	課題発 見力 主体性
3	トレンド情報分析について 今季のトレンドについて、カラー、素 材、デザインの面から解説する。	演習 説明後、パソコンにより 情報収集し、プリントに まとめる。	今季のトレンドについてコレク ション映像やインターネットより 情報を収集することができる。	(予習) 今季のトレンドを ネットで検索する。 (復習) 授業の内容を ファッション雑誌で振り返り まとめる。	60	実行力 課題発 見力
4	ファッションアクセサリー制作① 金具を使ったアクセサリーを制作する。	演習 教員説明後、作品を制作 する。作品は、点検後 フィードバックする。	金具使用のアクセサリーが制作で きる。	(予習) 金具を調べる。 (復習) 制作した作品の コーディネートを考え着装 する	60	主体性 実行力
5	ファッションアクセサリー制作② ラインストーンを使ったジュエルデコレ を制作する。	演習 教員説明後、作品を制作 する。作品は、点検後 フィードバックする。	ジュエルデコレ仕様のアクセサ リが制作できる。	(予習) ラインストーンの アクセサリーを調べる。 (復習) 制作した作品の コーディネートを考え着装 する。	60	主体性 実行力
6	ファッションアクセサリー制作③ レジンによるアクセサリーを制作する。	演習 教員説明後、作品を制作 する。作品は、点検後 フィードバックする。	レジンを使ったアクセサリーが制 作できる。	(予習) レジン仕様のアク セサリーを調べる。 (復習) 制作した作品の コーディネートを考え、着 装する。	60	主体性 実行力
7	アクセサリー産学連携企画① 全国販売を目指したアクセサリーを企画 する。	演習 企画する作品を制作す る。	アクセサリーメーカーに対して、 新しい価値、デザイン性を持った アクセサリーを企画することがで きる。	(予習) アクセサリーの売 れ筋商品を調べる。 (復習) 企画したアクセサ リーの作り方を考える。	60	発信力 創造力
8	アクセサリー産学連携企画② 全国販売を目指したアクセサリーを制作 する。	演習 企画する作品を制作す る。作品は、点検後 フィードバックする。	アクセサリーメーカーに対して、 新しい価値、デザイン性を持った アクセサリーを制作することがで きる。	(予習) アクセサリーの制 作方法を調べる。 (復習) 企画したアクセサ リーを完成させる。	60	創造力 実行力
9	アクセサリー産学連携企画③ 全国販売を目指したアクセサリーの中間 発表会を行う。	発表 企画する作品を連携先企 業に対して、中間発表す る。	アクセサリーメーカーに対して、 新しい価値、デザイン性を持った アクセサリーを提案することがで きる。	(予習) 発表練習をする。 (復習) 指摘された課題に 対して、修正案を検討す る。	60	発信力 傾聴力
10	ファッションビジネスプロジェクト① (アクセサリーショップ) ネックレスアイテムを制作する。	演習、討議 教員説明後、チーム活動 で販売する商品を検討す る。	秋季に出展するアクセサリー ショップの商品(ネックレス) 制 作ができる。	(予習) ネックレスの制作 の内容を考える。 (復習) アクセサリー制作 と修正を行う。	60	実行力 主体性 創造力
11	ファッションビジネスプロジェクト② (アクセサリーショップ) イヤリングアイテムを制作する。	演習、グループワーク 教員説明後、チーム活動 商品を制作する。	秋季に出展するアクセサリー ショップの商品(イヤリング) 制 作ができる。	(予習) イヤリングの制作 の内容を考える。 (復習) アクセサリー制作 と修正を行う。	60	実行力 主体性 創造力
12	ファッションビジネスプロジェクト③ (アクセサリーショップ) ピアスアイテムを制作する。	演習、グループワーク 教員説明後、チーム活動 商品を制作する。	秋季に出展するアクセサリー ショップの商品(ピアス) 制作が できる。	(予習) ピアスの制作の内 容を考える。 (復習) アクセサリー制作 と修正を行う。	60	実行力 主体性 創造力
13	ファッションビジネスプロジェクト④ (アクセサリーショップ) プレスレットアイテムを制作する。	演習、グループワーク 教員説明後、チーム活動 商品を制作する。	秋季に出展するアクセサリー ショップの商品(プレスレット) 制作ができる。	(予習) プレスレットの制 作の内容を考える。 (復習) アクセサリー制作 と修正を行う。	60	実行力 主体性 創造力
14	ファッションビジネスプロジェクト⑤ (アクセサリーショップ) ヘアアイテムを制作する。	演習、グループワーク 教員説明後、チーム活動 商品を制作する。商品は 教員が点検し、フィード バックする。	秋季に出展するアクセサリー ショップの商品(ヘア用) 制作が できる。	(予習) ヘアアクセサリー の制作の内容を考える。 (復習) アクセサリー制作 と修正を行う。	60	実行力 主体性 創造力
15	アクセサリー産学連携企画④ 全国販売を目指したアクセサリーの発表 会を行う。	発表 企画内容を P P で連携先 企業側にプレゼンテー ションする。	アクセサリーメーカーに対して、 新しい価値、デザイン性を持った アクセサリーを提案することがで きる	(予習) 発表の練習をする (復習) 発表について、感 想をまとめる	60	発信力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
16 17	研修旅行企画、学外見学 学外活動を通して、ファッション現場をとらえる。	演習(学外見学) 研修旅行を実施 研修先-アパレルメーカー、化粧品メーカー、コスチュームサロン、コレクション見学	ファッション関係の研修を通して業界の現状を理解できる。	(予習)見学先での質問を考える。 (復習)見学先の概要と感想をプリントにまとめる。	60	実行力 規律力 課題発見力
18	大学祭出店準備① 商品企画を行う。	実習、討議 教員説明後、討議し、役割分担し、出店準備を行う。	店舗ディスプレイの実際を考え、各アイテムを制作できる。	(予習)Shopを訪問し、ディスプレイ、POPを観察する。 (復習)POPの修正と制作を行う。	60	主体性 創造力
19 20 21	大学祭出店準備② 商品制作を行う。	実習 教員説明後、チーム活動で、販売する商品を制作する。商品は教員が点検し、フィードバックする。	アクセサリアイテムを制作できる。	(予習)商品の品揃えをまとめる。 (復習)アクセサリ制作と修正を行う。	60	実行力 課題発見力
22	大学祭出店準備③ 商品管理として、価格設定と値札つけを行う。	実習 教員説明後、チーム活動で、販売する商品の価格設定、値札付けを行う。	販売商品を制作できる 販売商品を制作し、価格設定できる。	(予習)一般小売店舗商品の価格を調べる。 (復習)販売後のアクセサリの商品管理を行う。	60	主体性 実行力
23	ファッションショー企画 トレンドを活かし、テーマ、制作作品を考える。 ・トレンド分析 ・デザインワーク	演習、討議 教員説明後、全体でテーマ、担当を話し合う。	ファッションショー実施に向けて、企画案を練り、検討できる。	(予習)コレクションを鑑賞する。 (復習)制作するデザインを考え、制作手順を計画する。	60	主体性 発信力 傾聴力
24 25 26 27	ファッションショーアイテム制作 各自作品制作を行う。 ・材料選定 ・裁断、印付け ・縫製 ・仕上げ ・装飾	実習、制作 発表する衣裳を制作 実習する。制作途中で教員が点検(フィードバック)しながら、完成させる。	ファッションショー作品を制作できる。(衣裳orアクセサリ)	(予習)本日の作業の確認を行い、制作内容を計画する。 (復習)衣裳制作を進める。	120	主体性 実行力 創造力 課題発見力 規律性
28	ファッションショー準備 ショーの音楽、舞台演出を検討する。	実習、グループワーク ゼミ全体で活動し、ショー演出を行う。	ファッションショーの演出を考え、発表の準備ができる。	(予習)ショーで使用する音楽を探す (復習)コレクションを鑑賞し、フォーメーションを考え練習する。	60	発信力 実行力
29 30	ファッションショー作品発表会 学外プロジェクト成果発表会	実習 ファッションショー出演、および学外活動の成果発表を行う。	卒業作品発表会(ファッションショー)で発表することができる。	(予習)本番のスタイリングを考える。 (復習)ビデオにより本番を振り返る。ゼミ活動を振り返りまとめる。	60	発信力 実行力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

令和2年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	実務経験のある 教員による授業 科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
31109	総合ゼミナール Synthesis Seminar	杉浦 菜穂子		基礎	2	必修	2年通年
科目の概要							
<p>テーマ「ファッションクリエイティブデザイン ―ユニバーサルファッションについて―」 ユニバーサルファッションをテーマに研究をします。日本でも高齢化社会が進み、介護が社会問題としてクローズアップされています。服飾においてもユニバーサルファッションという考え方が広がってきています。ユニバーサルファッションというと、健康者でも、障がいのある方でも若者でも高齢者でも、だれでも着られる、とか着やすいといった事になりますが、人間の体は一人ひとり違います。個性を大切にしたいユニバーサルファッションとは何かを考え、研究していきます。また、自分の着たい服をデザインし、制作します。洋裁の基本はもとより、ショー作品を制作することによって、より高度な洋裁技術を体得します。制作したショー作品は、着装して発表します。ゼミ活動を通して建学の精神を実践し、社会人基礎力を身に付け、潜在能力の開発を目指していく。</p>							
学修内容				到達目標			
<p>①ユニバーサルファッションについて捉え市場調査し、分析する。 ②ユニバーサルファッション分野の学識を深める。 ③自分の着たい服をデザインし、制作する。制作したショー作品は、着装して発表する。</p>				<p>①ユニバーサルファッションについて理解し、自分の考えをまとめることができる。 ②ユニバーサルファッションをデザインすることができる。 ③制作した作品をコンクールに出品し、ファッションショーで発表することにより潜在能力を伸ばすことができる。</p>			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	ユニバーサルファッションについて情報を積極的に収集し、様々なスタイル傾向を捉える。教員が提示する社会人基礎力を授業で意識して受講することができる。					
	働きかけ力						
	実行力	自ら立てた目標達成に向けて、具体的に行動することができる。					
考え抜く力	課題発見力	ユニバーサルファッションを分析し、着用するうえでの問題点を考えながらデザインを行うことができる。					
	計画力						
	創造力	個々に寄り添い対応したユニバーサルファッションを考え、新しいファッションスタイルを提案することができる。					
チームで働く力	発信力	発表会では、自分の意見をわかりやすく伝えることができる。					
	傾聴力	チーム活動では互いの考えをディベートし、制作や研究に活かすことができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
<p>テキスト：プリント配布 参考文献：なし</p>							
他科目との関連、資格との関連							
<p>他科目との関連：ファッション造形、やさしいソーイング、アパレルパターンメイキング、コスチュームデザイン、ファッションデザイン演習 資格との関連：なし</p>							
学修上の助言				受講生とのルール			
ファッションを通じて社会情勢に関心を持ちましょう。ゼミ活動を通じて社会人基礎力を身に付け、1年で確かな成長を目指そう。				欠席せず、時間、ルール、提出物期限を厳守する。提出物に不備がないかを提出前に確認し、丁寧に仕上げること。携帯電話の電源は切り、鞆に入れておくこと。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記(レポート含む)・実技・口述試験		①	
				②	
				③	
				④	
				⑤	
	小テスト			①	
				②	
				③	
				④	
				⑤	
レポート			①		
			②		
			③		
			④		
			⑤		
平常評価	成果発表(プレゼンテーション・作品制作等)	90	①	✓	自らデザインし、作品を制作・発表する。 ユニバーサルファッションについて目的を捉え、個々に合った作品かを評価する。 細部まで丁寧に制作できているかを評価する。 (特に優れて高い：S、優れて高い：A、完成しており問題ない：B、完成しているが着用の問題あり：C)
			②	✓	
			③	✓	
			④		
			⑤		
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10	①	✓	主体性：ユニバーサルファッションについての情報を積極的に捉え、デザインに活かすことができる。 実行力：ファッションと社会の動向を捉え、制作作品で表現できる。 課題発見力：目標を達成するための問題点を考えながら取り組むことができる。 創造力：様々なファッションスタイルに刺激を受け、新しい発想のもとアイデアが提案できる。 発信力：発表会では自分の意見をわかりやすく伝えることができる。 傾聴力：チーム活動では、他者の意見をしっかりと聞き、制作に活かすことができる。 規律性：無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
			②	✓	
			③	✓	
			④		
			⑤		
総合評価 割合			100		

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>到達レベルS 下記に加えて、チーム活動において、統率力を発揮することができる。作品制作では、完成度の高い構成で表現されオリジナリティがある。研究において自分の意見をしっかりと発信することができる。</p> <p>到達レベルA 作品制作に対して一生懸命に取り組み、デザイン性に優れ完成度の高い作品として仕上がっている。</p>	<p>到達レベルB ユニバーサルファッションの必要性が説明できる。自分でデザインし、作品を制作することができる。</p> <p>到達レベルC 上記の内容に対して、提出物の遅延・不備がある。プロジェクト活動に対して意欲的な姿勢がみられない。</p>

週	学修内容	授業の 実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力 名
1週 /	オリエンテーション ゼミ活動の内容説明やスケ ジュール説明を行う。	講義と質疑応答 教員が1年間の活 動内容を説明す る。	ゼミの内容を理解し、 ゼミの概要が分かる。	(予習) シラバス を読み、ゼミの内 容を捉える。 (復習) 個人研究 テーマを設定す る。	90	主体性 傾聴力 規律性
2週 /	ユニバーサルファッション について現状を捉える。	演習・グループワー ク 教員の説明後、情報 収集を行う。提出物 (レポート)を点検 し、フィードバック する。	ユニバーサルファッ ションについて、現状 を説明することができる。	(予習) ユニバーサル ファッションについ て、新聞やNETで調べ る。 (復習) ユニバーサル ファッションについ て、レポートにまとめ る。	90	主体性 実行力 課題発 見力
3週 /	デザイン画制作 コンテストに向けてデザイ ン画を制作する。	演習 教員がコンテストに ついて説明後、各自 作品制作を行う。提出物 (D画)を点検 し、フィードバック する。	コンテストの主旨を理 解し、デザイン画を制 作できる。	(予習) 出品コン テストの過去受賞 作品を調べる。 (復習) デザイン 画アウトラインを 完成させる。	90	主体性 実行力 創造力
4週 /	デザイン画制作 コンテストに向けてデザイ ン画を制作する。着色し、 背景、全体の仕上がりを考 える。	演習 教員がデザイン画の 着色について説明 後、各自作品制作を 行う。提出物 (D画) を点検し、フィード バックする。	デザイン画に着色し、 背景・全体を仕上げ ることができる。	(予習) 着色画材 について調べ、準 備する。 (復習) デザイン 画を着色し、完成 させる。	90	主体性 創造力 実行力
5週 /	布購入準備・素材研究 コンテスト作品、発表作品 の素材研究・手工程の考案 を行う。	演習 教員がショー作品の 素材について説明 後、素材について調 べ、手工程を考案 し、試作する。	デザイン画に合った素 材を理解し、手工程を 考案することができる。	(予習) 布の使用 量についてについ て調べる。 (復習) 布を購入 し、地直しを行 う。	90	主体性 創造力 実行力
6週 /	発表作品制作 コンテスト、発表に向けて 作品を制作する。 パターンメイキングを行 う。	演習 教員がパターンメイ キングについて説明 後、各自製図を行 う。提出物 (型紙) を点検し、フィード バックする。	デザイン画を発展さ せ、パターンメイキ ングすることができる。	(予習) 自分の採 寸をしてくる。 (復習) デイ ティールの縫製方 法について調べて くる。	90	主体性 創造力 実行力 課題発 見力
7週 /	発表作品制作 コンテスト、発表に向けて 作品を制作する。 パターン展開、仮縫いを行 う。	演習 教員がパターン展開 について説明後、各 自展開を行う。提出 物を点検し、フィード バックする。	パターンを展開するこ とができる。仮縫い用 布を裁断することが できる。	(予習) デイ ティールの縫製方 法について調べて くる。 (復習) 仮縫いを してくる。	90	主体性 実行力 創造力
8週 /	発表作品制作 コンテスト、発表に向けて 作品を制作する。 試着・補正を行う。	演習 教員が試着・補正に ついて説明後、各自 制作を行う。提出物 を点検し、フィード バックする。	仮縫い試着・補正を行 うことができる。	(予習) 仮縫いを してくる。 (復習) パター ンの直しをしてく る。	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	発表作品制作 コンテスト、発表に向けて作品を制作する。 本番用布の裁断を行う。	演習 教員が裁断について説明後、各自裁断を行う。提出物を点検し、フィードバックする。	本番用布を裁断することができる。	(予習) 補正をしてくる。 (復習) 布地に合った印付けをしてくる。	90	主体性 実行力 創造力
10週 /	発表作品制作 コンテスト、発表に向けて作品を制作する。 縫製を行う。	演習 教員が縫製方法について説明後、各自縫製を行う。提出物を点検し、フィードバックする。	縫製計画を立て、目標を達成できる。	(予習) 縫製計画を立てる。 (復習) 縫製予定まで進めてくる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力
11週 /	発表作品制作 コンテスト、発表に向けて作品を制作する。 縫製を行う。	演習 教員が縫製方法について説明後、各自縫製を行う。提出物を点検し、フィードバックする。	縫製計画の目標を達成できる。	(予習) 縫製予定まで進めてくる。 (復習) 縫製予定まで進めてくる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力
12週 /	ユニバーサルファッションの必要性・問題点を話し合い、新しいデザインを考える。	グループワーク 教員の説明後、チームでディスカッションを行う。提出物を点検し、フィードバックする。	ユニバーサルファッションについて理解を深め、新しいデザインを考えることができる。	(予習) ユニバーサルファッションについて調べたことを、発表できるようにしてくる。 (復習) デザイン画制作。	90	実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
13週 /	ユニバーサルファッションデザインを考える。 デザイン画を制作する。	演習 教員が説明後、デザイン画制作。制作計画書を書く。提出物(D画・計画書)を点検し、フィードバックする。	ユニバーサルファッションデザインを考え、制作計画を立てることができる。	(予習) ユニバーサルファッションデザインの縫製方法について考えてくる。 (復習) デザイン画を完成させる。	90	主体性 実行力 創造力
14週 /	ユニバーサルファッション作品を制作する。	演習 教員が説明後、デザイン画をもとに作品を制作する。提出物を点検し、フィードバックする。	ユニバーサルファッションデザイン作品を制作することができる。	(予習) 布を購入し、材料を準備してくる。 (復習) 縫製予定まで進めてくる。	90	実行力 課題発見力 創造力
15週 /	ユニバーサルファッション作品を制作する。	演習 作品を制作する。提出物を点検し、フィードバックする。	ユニバーサルファッションデザイン作品を制作することができる。	(予習) 縫製予定まで進めてくる。 (復習) 作品に改善点等がないか確認し、制作を進める。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	ユニバーサルファッション作品を制作する。	演習 作品を制作する。提出物を点検し、フィードバックする。	ユニバーサルファッション作品を丁寧に仕上げ、制作過程をレポートにまとめることができる。	(予習) 縫製予定まで進めてくる。 (復習) 作品を仕上げ、制作過程をレポートにまとめる。	90	主体性 実行力 創造力
2週 /	ユニバーサルファッション作品発表会 ・制作した作品を発表する。 ・他者の作品を見て評価する。	グループワーク 提出物を点検し、フィードバックする。着装して評価を得る。問題点・改善点等を話し合う。	制作した作品を発表することができる。	(予習) 作品の特徴をまとめ、発表できるようにしてくる。 (復習) 作品に改善点があれば直しを行い、完成させる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
3週 /	ユニバーサルファッションのレポート作成と発表に向けての資料を作成する。	演習 教員が説明後、レポート作成。提出物を点検し、フィードバックする。	ユニバーサルファッションについて、自身の体験と考え、作品制作過程をまとめることができる。	(予習) レポートの資料収集。 (復習) レポート作成と見直し。	90	主体性 実行力 課題発見力
4週 /	作品発表準備 作品制作を行う。 小物を制作する。	演習 教員の説明後、トータルコーディネートを考え、小物を制作する。	発表作品をトータルコーディネートした小物を制作することができる。	(予習) ヘッドアクセサリー・アクセサリ・シューズのデザイン収集。材料準備。 (復習) 小物を制作する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
5週 /	作品発表準備 作品制作を行う。 小物を制作する。	演習 教員の説明後、小物を制作する。	小物を制作し、効果的な発表方法を考えることができる。	(予習) 小物の材料準備・制作。 (復習) 発表作品・小物の仕上げと点検をし、不備がないかチェックする。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
6週 /	卒業作品制作 デザイン画を制作する。	演習 教員が説明後、各自作品制作を行う。提出物(D画)を点検し、フィードバックする。	デザイン画アウトラインが描ける。	(予習) デザインを考えてくる。 (復習) デザイン画アウトラインを完成させる。	90	主体性 実行力 創造力
7週 /	卒業作品制作 デザイン画を制作する。 着色し、背景、全体の仕上がりを考える。	演習 教員がデザイン画の着色について説明後、各自作品制作を行う。提出物(D画)を点検し、フィードバックする。	デザイン画に着色し、背景・全体を仕上げることができる。	(予習) 着色画材を何パターンか用意してくる。 (復習) デザイン画を着色し、完成させる。	90	主体性 創造力 実行力
8週 /	パターンメイキング 布購入準備・素材研究 作品の素材研究・手工程の考案を行う。	演習 教員がパターンメイキング・素材について説明後、製図する。素材について調べ、手工程を考案し、試作する。	パターンメイキングができる。 デザイン画に合った素材を理解し、手工程を考案することができる。	(予習) 素材・手工程について調べる。 (復習) 布の使用量について調べる。	90	主体性 創造力 実行力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	卒業作品制作 パターン展開、仮縫いを行う。	演習 教員がパターン展開について説明後、各自展開を行う。提出物を点検し、フィードバックする。	パターンを展開することができる。仮縫い用布を裁断することができる。	(予習) 仮縫い用布を準備する。 (復習) 仮縫いをしてくる。	90	主体性 実行力 創造力
10週 /	卒業作品制作 試着・補正を行う。	演習 教員が試着・補正について説明後、各自試着・補正を行う。提出物を点検し、フィードバックする。	仮縫いの試着・補正を行うことができる。	(予習) 仮縫いをしてくる。 (復習) 布を購入し、地直しをしてくる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
11週 /	卒業作品制作 本番用布の裁断を行う。	演習 教員が裁断について説明後、各自裁断を行う。提出物を点検し、フィードバックする。	本番用布を裁断することができる。	(予習) 布地に合った地直しをしてくる。 (復習) 布地に合った印付けをしてくる。	90	主体性 実行力 創造力
12週 /	卒業作品制作 縫製を行う。	演習 教員が縫製方法について説明後、各自縫製を行う。提出物を点検し、フィードバックする。	縫製計画を立て、目標を達成できる。	(予習) 縫製計画を立てる。 (復習) 縫製予定まで進めてくる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力
13週 /	卒業作品制作 縫製を行う。	演習 教員が縫製方法について説明後、各自縫製を行う。提出物を点検し、フィードバックする。	縫製計画を立て、目標を達成できる。	(予習) 手工程を考案し、試作してくる。 (復習) 縫製予定まで進めてくる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力
14週 /	卒業作品制作 縫製を行う。 小物制作を行う。	演習 教員が縫製方法・小物について説明後、各自縫製を行う。提出物を点検し、フィードバックする。	縫製計画を立て、目標を達成できる。小物を制作することができる。	(予習) 小物の材料準備・制作。 (復習) 発表作品・小物の仕上げと点検をし、不備がないかチェックする。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力
15週 /	作品・成果発表会 ゼミ活動のまとめ	実習 作品・成果発表会を行う。	卒業作品を発表し、ゼミ活動の総まとめをすることができる。	(予習) 卒業作品を発表できるように、トータルコーディネートし準備する。 (復習) 発表の反省とゼミ活動を振り返り、まとめる。	90	実行力 発信力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

令和2年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	実務経験のある 教員による授業 科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
31109	総合ゼミナール Synthetic Seminar	秦 真人		専門	2	必修	2年通年

科目の概要

「レクリエーションとスポーツ文化」についてというテーマで、3つの課題を一年間かけて追究する。
現在、日本のスポーツ文化は競技スポーツと健康スポーツ、観るスペクテイター・スポーツ、スポーツボランティアなど支えるスポーツといった4つの
とらえ方ができる。レクリエーションの中にもスポーツ的要素をもつ活動があり、それらは健康スポーツと重なるところが多い。このゼミでは、総合
的なスポーツ文化の理解から、身近なレクリエーションの話題を取り上げて体験的に学修する。そして、その中で建学の4大精神と社会人基礎力、
pisa型学力の修得をめざしていく。

学修内容	到達目標
① 日常的に生活を豊かにするスポーツ・レクリエーション(以下、スポ・レク)が習慣 化されるようにする。 ② スポ・レクを通して、集団における社会性を身につける。 ③ スポ・レクの基本的な技能を身につけ、基礎指導ができるようにする。 ④ スポ・レク種目の調査・研究により、スポーツ文化やレクに対する理解を深める。 ⑤ スポ・レク活動を支える担い手となるための学びを実践する。	① 日常生活の中でスポ・レクが習慣的に実践できる。 ② スポーツ・レクリエーション活動を通して社会性を身につけることができる。 ③ 基本的な技能を身につけ、基礎的スポ・レク指導ができる。 ④ 調査・研究により、スポーツ文化やレクに対する理解を深めることができる。 ⑤ スポ・レク活動を支える担い手の一人となることができる。

**学生に発揮させる社会人基
礎力の能力要素**

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏 み出す 力	主体性	スキル練習や試合、その他行事において自分の役割を積極的に果たすことができる。
	働きかけ力	チームとして良好な活動ができるように、声かけをしたり提案をすることができる。
	実行力	個人スキルの向上や目標に向かって粘り強く取り組み、目標を達成することができる。
考え抜 く力	課題発見力	自分のスキルやチームの弱点を分析し、課題を見つけて対処することができる。
	計画力	チーム力の向上のために、段階的な練習計画を立てることができる。
	創造力	スポ・レク活動の中で、新たな価値観を創り出すことができる。
チーム で働く 力	発信力	スポ・レク活動の中で、自分の考えを提案することができる。
	傾聴力	スポ・レク活動の中で、他人の考えをしっかりと把握することができる。
	柔軟性	スポ・レク活動の中で、意見の相違があっても、柔軟に対処することができる。
	状況把握力	スポ・レク活動の中で、どういう場面であるかを常に把握して対処することができる。
	規律性	無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	スポ・レク活動の中で、ストレスを感じても、動揺せずに冷静に対処することができる。

テキスト及び参考文献

テキスト・参考文献：必要に応じて、各授業時間にプリントを配布。テーマに沿って、そのつど参考文献等
を提示する。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：「フィジカルトレーニング」、「エアロビクス」、「健康管理論」、「各スポーツ演習」「生涯ス
ポーツ」など
資格との関連：(レクリエーションインストラクター、スポーツインストラクター)

学修上の助言	受講生とのルール
様々な写真や映像資料などを利用して、視覚による理解 を深めるとともに、実体験をすることによってさらにレ クリエーションとスポーツ文化についての理解を深め る。前期はレクリエーション的スポーツの実体験を中心 に、後期は興味関心のあるスポーツやレクリエーショ ンに関する資料・文献調査を中心に学修する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要に応じて更衣をし、室内シューズとタオルを準備 する。 ・ 携帯電話は必要ないので持ち込まない。 ・ 無断欠席はしない。必ず連絡・報告する。 ・ 出席が必要回数に満たない場合は無資格となる。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記(レポート含む)・実技・口述試験		①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
	平常評価	小テスト			①		
					②		
					③		
					④		
					⑤		
		レポート	60			①	✓
						②	✓
						③	✓
						④	✓
						⑤	✓
		成果発表(プレゼンテーション・作品制作等)	30			①	✓
						②	✓
						③	✓
						④	✓
						⑤	✓
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10		①	✓		
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤	✓		
総合評価 割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>授業で学んだ様々な知識を体系的に理解し、自分に合った練習方法を見つけて実践し、著しく個人スキルとチームスキルの向上が図れる場合A(優)。</p> <p>さらに、将来的に計画的に実践させることができると思われ、特に指導的立場にいたいと思われたらS(秀)となる。</p>	<p>授業で学んだ様々な知識を理解し、それを活かした練習計画が実践できると共に個人スキルの向上が図れた場合B(良)。</p> <p>授業に参加し、個人スキルの向上が図れなくても、主体的に行動することができればC(可)である。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	一年間のゼミ活動全体の内容を理解する。	講義 教員からの説明と全員で計画案を確認する。	このゼミではどういう活動して、どういったことを身につけていくことができるかを理解することができる。	(予習) スポーツ、レクリエーションとは何かの意味を予習する。 (復習) 計画を練る。	90	課題発見力 傾聴力
2週 /	スポーツ文化とレクリエーションの意味を理解する。	講義 (復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	社会の中でのスポーツの位置づけとレクリエーションの意味をその変遷などから広く理解することができる。	(予習) スポーツ文化について予習する。 (復習) スポーツとは何か復習する。	90	傾聴力
3週 /	スポーツ・レクリエーション運営実践に向けて計画する。	講義・演習 教員からの説明と全員で計画案を作る。(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	グループ分けにより、次回からの運営実践に向けて企画・準備をすることができる。	(予習) 何の店か予習として企画する。 (復習) 模擬店の企画運営計画について復習する。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力
4週 /	スポーツ・レクリエーションの運営を実践①をする。	演習 各グループ企画による授業運営をする。(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	各グループが企画したスポーツ又はレクリエーションを実際に運営・受講し、その実践の様子を各自記録して振り返ることができる。	(予習) 次の担当者は担当種目について、どのように運営するかまとめてくる。 (復習) 担当種目の記録から振り返り反省点をまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 働きかけ力
5週 /	スポーツ・レクリエーションの運営を実践②をする。	演習 各グループ企画による授業運営をする。(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	各グループが企画したスポーツ又はレクリエーションを実際に運営・受講し、その実践の様子を各自記録して振り返ることができる。	(予習) 次の担当者は担当種目について、どのように運営するかまとめてくる。 (復習) 担当種目の記録から振り返り反省点をまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 働きかけ力
6週 /	スポーツ・レクリエーションの運営を実践③をする。	演習 各グループ企画による授業運営をする。(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	各グループが企画したスポーツ又はレクリエーションを実際に運営・受講し、その実践の様子を各自記録して振り返ることができる。	(予習) 次の担当者は担当種目について、どのように運営するかまとめてくる。 (復習) 担当種目の記録から振り返り反省点をまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 働きかけ力
7週 /	スポーツ・レクリエーションの運営を実践④をする。	演習 各グループ企画による授業運営をする。(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	各グループが企画したスポーツ又はレクリエーションを実際に運営・受講し、その実践の様子を各自記録して振り返ることができる。	(予習) 次の担当者は担当種目について、どのように運営するかまとめてくる。 (復習) 担当種目の記録から振り返り反省点をまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 働きかけ力
8週 /	スポーツ・レクリエーションの運営を実践⑤をする。	演習 各グループ企画による授業運営をする。(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	各グループが企画したスポーツ又はレクリエーションを実際に運営・受講し、その実践の様子を各自記録して振り返ることができる。	(予習) 次の担当者は担当種目について、どのように運営するかまとめてくる。 (復習) 担当種目の記録から振り返り反省点をまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 働きかけ力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	スポーツ・レクリエーションの運営を実践⑥をする。	演習 各グループ企画による授業運営をする。(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	各グループが企画したスポーツ又はレクリエーションを実際に運営・受講し、その実践の様子を各自記録して振り返ることができる。	(予習) 次の担当者は担当種目について、どのように運営するかまとめてくる。 (復習) 担当種目の記録から振り返り反省点をまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 働きかけ力
10週 /	スポーツ・レクリエーションの運営を実践⑦をする。	演習 各グループ企画による授業運営をする。(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	各グループが企画したスポーツ又はレクリエーションを実際に運営・受講し、その実践の様子を各自記録して振り返ることができる。	(予習) 次の担当者は担当種目について、どのように運営するかまとめてくる。 (復習) 担当種目の記録から振り返り反省点をまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 働きかけ力
11週 /	スポーツ・レクリエーションの運営を実践⑧をする。	演習 各グループ企画による授業運営をする。(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	各グループが企画したスポーツ又はレクリエーションを実際に運営・受講し、その実践の様子を各自記録して振り返ることができる。	(予習) 次の担当者は担当種目について、どのように運営するかまとめてくる。 (復習) 担当種目の記録から振り返り反省点をまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 働きかけ力
12週 /	スポーツ・レクリエーションの運営を実践⑨をする。	演習 各グループ企画による授業運営をする。(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	各グループが企画したスポーツ又はレクリエーションを実際に運営・受講し、その実践の様子を各自記録して振り返ることができる。	(予習) 次の担当者は担当種目について、どのように運営するかまとめてくる。 (復習) 担当種目の記録から振り返り反省点をまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 働きかけ力
13週 /	スペクテイター・スポーツに対する理解をする。	演習 教員による説明の後、実際に学外で演習する。(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	学外競技スポーツを観戦し、レクリエーションとしての見るスポーツに対する理解を深めることができる。	(予習) スペクテイタースポーツとは何かについて調べる。 (復習) 希望種目についての調査と記録を振り返りまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力
14週 /	アウトドア体験活動を理解し企画運営をする。	演習 教員による説明の後、実際に学外で演習する。(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	B B Qや野外企画を運営し、レクリエーションとしてのアウトドア活動について実践的に学ぶことができる。	(予習) 野外調理についての仕方を事前学習する。 (復習) B B Qや野外企画を記録しまとめをする。	90	90 主体性 実行力 課題発見力 計画力 規律性
15週 /	前期の活動のまとめをする。	演習 教員からの説明と全員での反省会をする。(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	前期のゼミ活動を振り返り、総括して反省することができる。	(予習・復習) 前半期の記録から、振り返りをし、活動内容のまとめのレポートを作成する。	90	課題発見力 計画力 発信力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
16週 /	後期ゼミ活動について理解する。	講義 教員からの説明と全員で後期の計画案を確認する。	後半のゼミでは、どういう活動して、どういったことを身につけていくことができるかを理解することができる。	(予習) 後期活動の内容をシラバスから把握する。 (復習) 計画を練り直しまとめる。	90	課題発見力 傾聴力
17週 /	レクリエーションとしての「祭」を理解する。	講義 (復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	社会の中でのスポーツの位置づけとレクリエーションの意味をその変遷などから広く理解することができる。	(予習) スポーツ文化の中の祭を考えてみる。 (復習) 祭をレクリエーションとしてはとらえてまとめる。	90	傾聴力
18週 /	「学泉祭」運営実践に向けて計画を立てる。	講義・演習 教員からの説明と全員で計画案を作る。(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	グループ分けにより、次回からの運営実践に向けて企画・準備をすることができる。	(予習) どんな店を出店可能か調べておく。 (復習) 模擬店の企画運営計画についてまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力
19週 /	「学泉祭」運営実践の反省をする。	演習 教員からの説明と全員で反省会をする。(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	学泉祭の模擬店の運営実践した振り返りをして、その実践の反省ができ記録することができる。	(予習) 各自反省点をまとめてくる。 (復習) 各自の反省を踏まえ模擬店の企画運営の記録を作りまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 働きかけ力
20週 /	レクリエーションとしての「旅」を理解し計画を立てる。	演習 各グループ企画により計画・立案を試みる。(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	「旅」のレクリエーションとしての意味を広く理解し、ゼミ旅行に向けての意識を確認し計画することができる。	(予習) どこが実際に行くことが可能か調べてくる。 (復習) 各自の提案をまとめて方向性を絞る。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 働きかけ力
21週 /	「ゼミ旅行」の運営・実践の反省をする。	演習 教員からの説明と全員で反省会をする。(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	ゼミ旅行の運営実践した振り返りをして、その実践の反省ができ記録することができる。	(予習) 各自反省点をまとめてくる。 (復習) ゼミ旅行の企画運営の記録を作りまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 働きかけ力
22週 /	まちづくりプロジェクトを実施する。①	演習 各グループ企画により計画・立案を試みる。(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	まちづくりプロジェクトに積極的に参加することができる。	(予習) プロジェクトで何をするかについて調べてくる。 (復習) 実施内容を振り返り反省してまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 働きかけ力
23週 /	まちづくりプロジェクトを実施する。②	演習 各グループ企画により運営する。(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	まちづくりプロジェクトに積極的に参加することができる。	(予習) プロジェクトで何をするかについて調べてくる。 (復習) 実施内容を振り返り反省してまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 働きかけ力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名 ²⁴
24週 /	最終レポート作成に向けての手順を理解する。	演習 教員からの説明と計画案を作成(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	最終レポートの書き方、資料の収集・整理の仕方などについての説明とテーマ設定について理解ができる。	(予習) 各希望種目の調査をする。 (復習) 各自の予備調査を確認してまとめる。	90	25 主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 働きかけ力
25週 /	資料収集と相談を行う。	演習 各自が活動(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	図書館や情報処理室を利用し、粘り強くレポート作成のための資料収集を行うことができる。	(予習) 各希望種目の調査により1つのテーマに絞む。 (復習) 調査内容を確認してまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 働きかけ力
26週 /	各自レポート作成と発表に向けての資料を作成する。 ①	演習 各自が活動(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	情報処理室を利用し、独自の考えを交えながら、粘り強くレポート作成のための資料収集を行うことができる。	(予習・復習) レポートの作成と見直しをする。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 働きかけ力
27週 /	各自レポート作成と発表に向けての資料作成する。②	演習 各自が活動(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	情報処理室を利用し、独自の考えを交えながら、粘り強くレポート作成のための資料収集を行うことができる。	(予習・復習) レポートの作成と見直しをする。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 働きかけ力
28週 /	レポート課題の第一次提出と発表内容の確認をする。	演習 各自が活動(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	最終レポートの第一次提出をすることができる。	(予習・復習) レポートの作成と見直しをする。	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力
29週 /	レポート課題の修正と最終提出をするとともに発表の最終確認をする。	演習 各自が活動(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	最終レポートの訂正・修正を行い、最終提出ができる。	(予習・復習) レポートの作成と見直しをする。	90	30 33 主体性 実行力 課題発見力 計画力 規律性
30週 /	ゼミ活動のまとめをする。	演習 ゼミ発表会で報告する。(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	完成したゼミナール報告をもとに、発表し総まとめをすることができる。	(予習) 報告資料・原稿の準備をする。 (復習) 発表の反省と振り返りをしてまとめる。	90	課題発見力 計画力 発信力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

